WARPSTAR

NEC

Aterm® WB20R

PC-WB20R1

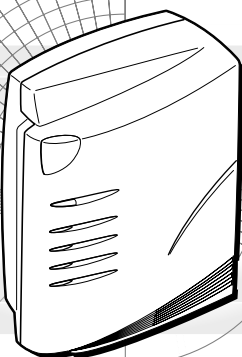
Aterm® WL20R&WL11U

PC-WL20R/11U

Aterm® WL20R&WL11C

PC-WL20R/11C

ワイヤレスLANセット

取扱説明書

マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されております。ご利用の目的に合わせてお読みください。

取扱説明書（本書）

Aterm WARPSTARの基本機能についての解説書です。

データ通信詳細ガイド（CD-ROM:PDFファイル）

本書には記載されていない、Aterm WARPSTARのより詳細な機能について解説しています。

用語解説（CD-ROM:HTMLファイル）

本書で使われている用語や、Aterm WARPSTARを活用するために知っておきたい用語の解説を五十音順で検索することができます。

お困りのときには（CD-ROM:HTMLファイル）

Aterm WARPSTARのご利用中にトラブルが起きたときの対処法について問題の種類で検索して読むことができます。

※CD-ROMの操作方法について（☞本書P16「電子マニュアルの見かた」）

※本装置の対応OSは、Windows® Me、Windows® 98、Windows® 2000（日本版）です。ただし、対応OSでご使用される場合でもお客様が使用されているパソコンの環境などによっては、すべての動作を保証するものではありません。また、対応OS以外でご使用される場合は、動作の保証はいたしませんのであらかじめご了承ください。

はじめに

　このたびは、『Aterm WB20R』、『Aterm WL20R&WL11U ワイヤレス LAN セット』、『Aterm WL20R&WL11C ワイヤレス LAN セット』をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
『Aterm WB20R』、『Aterm WL20R&WL11U ワイヤレス LAN セット』、『Aterm WL20R&WL11C ワイヤレス LAN セット』（以下 WARPSTAR（ワープスター）と称します。）は、CATV／ADSL 網を使用し、ネットワーク上のパソコンからインターネットに接続してご利用できる製品です。
『Aterm WL20R&WL11U ワイヤレス LAN セット』、『Aterm WL20R&WL11C ワイヤレス LAN セット』（以下ワイヤレス LAN セットと称します。）はワイヤレス通信機能を搭載していますので、『Aterm WL20R』（以下 WARPSTAR ベースと称します。）をワイヤレス親機、『Aterm WL11U』／『Aterm WL11C』（以下 WARPSTAR サテライトと称します）をワイヤレス子機として親機と離れたところから無線で通信できます。
　また、『Aterm WB20R』でも別売りオプションの『Aterm WL11C』を装着することによって『Aterm WL20R』と全く同じ無線 LAN 機能をご利用になることができます。
　本書では WARPSTAR の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、WARPSTAR を使いこなすために必要な事項を説明しています。本装置をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■ワイヤレス機器の使用上の注意

● 本装置は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
（1）本装置を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本装置と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本装置の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm（エーターム）インフォメーションセンターにお問い合わせください。

● 本装置は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4　: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS　: 変調方式を示す
4　: 想定される干渉距離が 40m 以下であること
■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

「データ通信詳細ガイド」目次

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

⚠危　険　：人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注　意　：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　：本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

■　**絵表示の例**

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警　告

設置場所

● **風呂、シャワー室への設置禁止**
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

● **水のかかる場所への設置禁止**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

電源

● **商用電源以外の使用禁止**
AC100V の家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

差し込み口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

● **電源コードの取り扱い注意**
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。
また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。

警　告

電源

● **ぬれた手での操作禁止**
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

● **たこ足配線の禁止**
本装置の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

⚠ 警　告

こんなときは

● **発煙した場合**
万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● **水が装置内部に入った場合**
万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

● **異物が装置内部に入った場合**
本装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● **電源コードが傷んだ場合**
電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。

● **破損した場合**
万一、落としたり破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 警　告

禁止事項

● **本装置は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**

● **分解・改造の禁止**
本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● **ぬらすことの禁止**
本装置に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。

● **ぬれた手での操作禁止**
ぬれた手で本装置を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意

● **使用禁止区域での注意＊１**
航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本装置の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

● **ペースメーカを装着されている方の注意＊１**
植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本装置をペースメーカ装着部から 22cm 以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。

● **異物を入れないための注意**
本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

＊１：WB20R は、拡張カードスロットに WL11C（別売）を挿入して、ワイヤレス LAN 対応に拡張した場合。

注　意

設置場所

● **火気のそばへの設置禁止**
本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● **湿度の高い場所への設置禁止**
直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● **不安定な場所への設置禁止**
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● **通風孔をふさぐことの禁止**
本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
・横向きに寝かせる
・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける

● **横置き・重ね置きの禁止**
本装置を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本装置の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**

⚠ 注　意

電源

● **プラグの取扱注意**
電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● **移動させるときの注意**
移動させる場合は、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● **アース線の取付**
万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

● **長期不在時の注意**
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● **電源プラグの清掃**
電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に１回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

⚠ 注　意

禁止事項

● **乗ることの禁止**

本装置に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

その他のご注意

● **雷のときの注意**

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

● **取扱説明書に従って接続してください。間違えると接続機器が故障することがあります。**

STOP お願い

設置場所

- **本装置を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。**
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- **本装置をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**
- **ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで約100mです。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。＊1**
- **本装置とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。＊1**

禁止事項

- **動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。**

日ごろのお手入れ

- **汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。**

＊１：WB20Rは、拡張カードスロットにWL11C（別売）を挿入して、ワイヤレスLAN対応に拡張した場合。

本書の見かた

必要に応じて、以下の順番でお読みください。

1 最初にここまでやりましょう	最初に必ずお読みください。

2 インターネットをしましょう	パソコンの接続とインターネットの設定が行えます。お使いのパソコンによりどちらかをお読みください。

3 らくらくアシスタントを使いこなしましょう	Atermを活用するために、らくらくアシスタントの使い方を説明しています。

4 LAN機能を使いこなしましょう	Atermでお使いいただけるLAN機能について説明しています。

お知らせ

●本書に書かれていないデータ通信機能の詳細や、「用語解説」、「お困りのときには」は添付のCD-ROMをご覧ください。

●本文中では、Aterm WB20R／WL20Rを「WARPSTARベース」、Aterm WL11U／WL11Cを「WARPSTARサテライト」と呼びます。

電子マニュアルの見かた

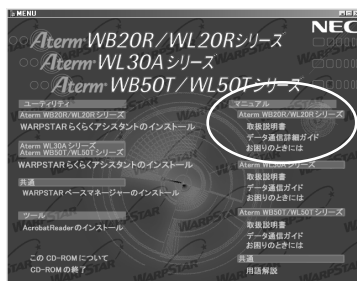
データ通信機能の詳細についてや、「用語解説」、「お困りのときには」は、添付のCD-ROM「Aterm WARPSTARユーティリティ集」に収録されている電子マニュアルをご覧ください。

お願い

●「データ通信詳細ガイド」をご覧になるとき、AcrobatReader3.0以上をインストールされていない方は、［データ通信詳細ガイド］ボタンをクリックする前に、［AcrobatReaderのインストール］ボタンをクリックして、AcrobatReader4.05をインストールしてください。

1 パソコンを起動し、添付のCD-ROM「Aterm WARPSTARユーティリティ集（ブロードバンド対応）」をCD-ROMドライブにセットする

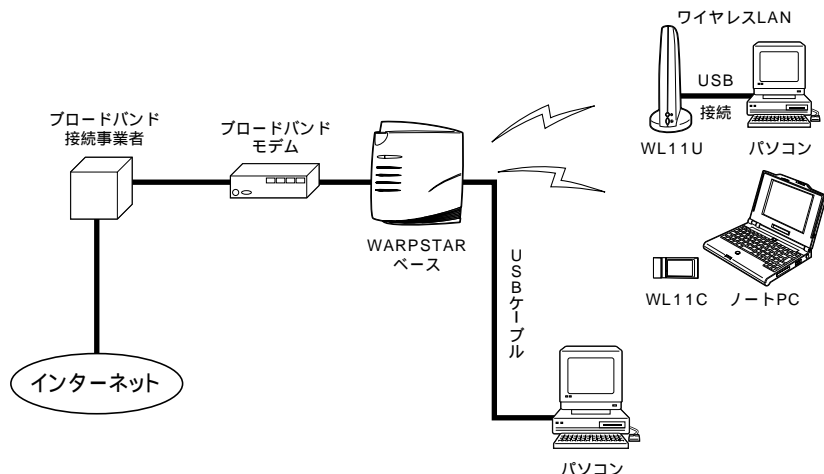
ユーティリティや電子マニュアルのメニューが表示されます。

2 読みたいファイルのボタンをクリックする

お知らせ

●「用語解説」または「お困りのときには」をご覧になるには、WWWブラウザがインストールされている必要があります。

WARPSTARでできること

ブロードバンド回線での快適インターネット

WARPSTARは、ブロードバンドモデムに接続して使うLANアダプタです。WARPSTARベース、WARPSTARサテライトに接続したパソコンからインターネットに接続することができます。
また、WARPSTARに接続したパソコン間でLAN機能を利用することができます。

WB20Rでは、USBポートでのLAN接続のみがご利用いただけます。ただし、WL11C（別売り）を装着することで、WL20Rと全く同じ無線LAN機能をご利用になれます。(☞P1-9)

●インターネット接続

ブロードバンド通信網を利用したインターネット接続ができます。

・ブロードバンドインターネット接続はブロードバンドモデムとパソコンの間にWARPSTARを接続することでご利用になれます。接続できるブロードバンド接続事業者は、ホームページAtermStationにて順次ご案内いたしますので、事前にご確認ください。
・接続事業者によっては、WARPSTARのようなルータ機能をもつ装置の接続を制限している場合があります。ご利用にあたっては、あらかじめ接続事業者にご確認ください。
・ルータタイプのADSLモデムに接続する場合は、「2-1　CATVでインターネットしよう」にしたがって設定を行ってください。

●ファイルとプリンタの共有

WARPSTARベース、WARPSTARサテライトに接続したパソコン間で、無線接続、有線接続に関係なくファイルやプリンタを共有することができます。（☞P4-14）

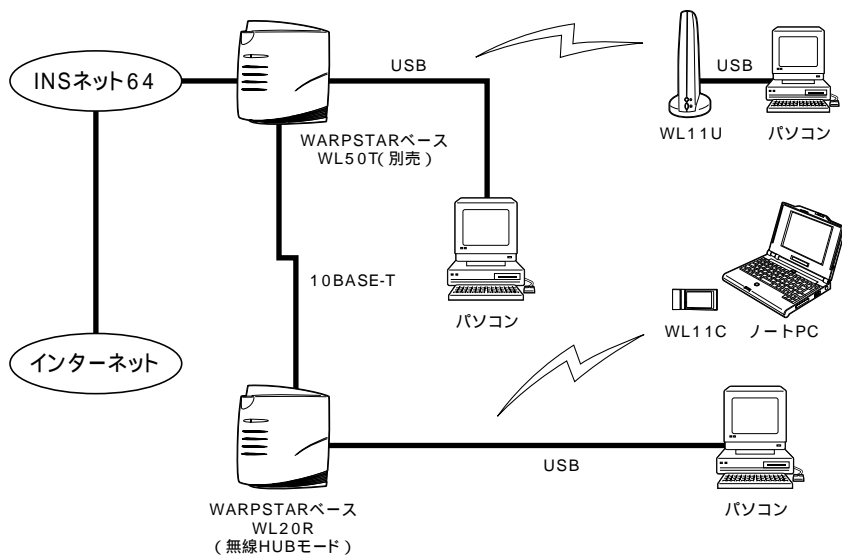
● WARPSTARサテライトの増設

別売のWARPSTARサテライトを増設することができます。
接続できるパソコンはUSB LAN接続のパソコンも含めて全部で32台までです。10台以下でのご使用を推奨します。

無線HUBモードでワイヤレスネットワークの拡張

● LAN上のパソコン間で通信する（無線HUBモード）

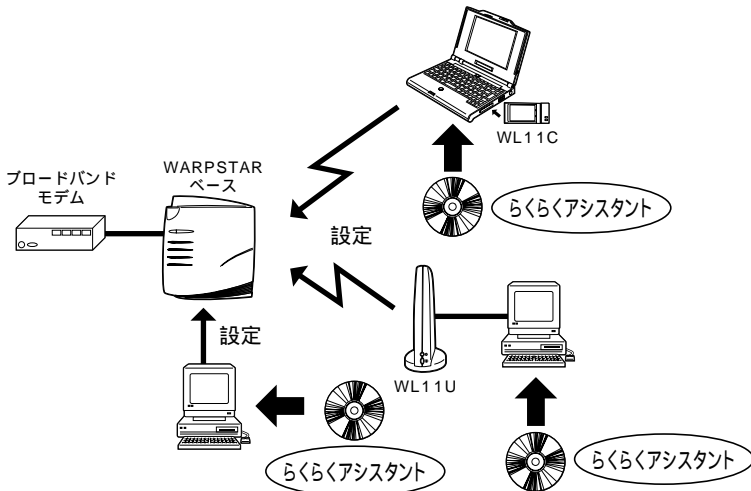
WARPSTARベースに接続した有線LAN／無線LAN上のパソコン間で通信を行うことができます。

「4-3　無線HUBモードによるネットワーク拡張」（☞P4-19）

※WB20Rで無線LAN機能をご利用になるには、別途WL11Cを装着する必要があります。

ユーティリティで簡単設定／接続

LAN機能、インターネット接続の設定は、すべて添付ユーティリティ「らくらくアシスタント」を利用して簡単に設定することができます。また、WARPSTARベース、WARPSTARサテライトに接続したどのパソコンからも同じように設定を行うことができます。

らくらくアシスタント

らくらくアシスタントは、WARPSTARを設定することができるユーティリティです。らくらくアシスタントに、ドライバのインストールなどを行う導入ウィザードやインターネット接続設定、バージョンアップなどを行う各種ツールが入っています。

※らくらくアシスタントはWARPSTARシリーズ共通です。お使いの機種によっては無効になるボタンがあります。

アクセスマネージャ

らくらくアシスタントをインストールすると、同時にインストールされます。インターネットへの接続設定や、接続操作を行うユーティリティです。アクセスマネージャにより、常時接続のインターネットとパソコンの接続を切り離したり、接続状態をチェックしたりできます。

サテライトマネージャ

らくらくアシスタントをインストールすると、同時にインストールされます。WARPSTARサテライトで利用するユーティリティです。WARPSTARベースとの無線通信の設定をすることができます。

ベースマネージャ

らくらくアシスタントをインストールの際に［完全］を選択すると、インストールされます。WARPSTARのLAN機能の詳細な設定を行うことができるユーティリティです。

1 最初にここまでやりましょう

最初に必ずこの作業を行ってください。

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

1-1 あらかじめ確認してください

WARPSTARをご利用になる前に、次のことを確認してください。

■ブロードバンド接続事業者およびプロバイダ会社とのインターネット接続契約はお済みですか？

・WARPSTARをお使いになる前に、ブロードバンド接続事業者およびプロバイダ会社との契約を済ませておいてください。
・WARPSTARの接続および設定には、下記のものが必要です。
①ブロードバンドモデム
②IPアドレスなどの設定情報
③ADSL接続の場合は、接続事業者からのユーザID、プロバイダからのパスワードなどの接続情報
・また、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。
・ルータタイプのADSLモデムに接続する場合、「2-1　CATVでインターネット接続しよう」にしたがって、設定を行ってください。

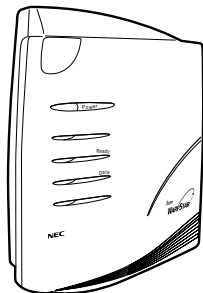
■パソコン環境について

・WB20R／WL20RおよびWL11U、WL11Cは以下のOS環境でご利用いただけます。
Windows® 98　日本語版
Windows® Me　日本語版
Windows® 2000　日本語版
・WARPSTARとパソコンの接続には以下のポートを使用します。
WB20R／WL20R ……………………………………………………USBポート
WL11U……………………………………………………………………USBポート
WL11C…………………………………………………PCカードType IIスロット

1-2 セットを確認する

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

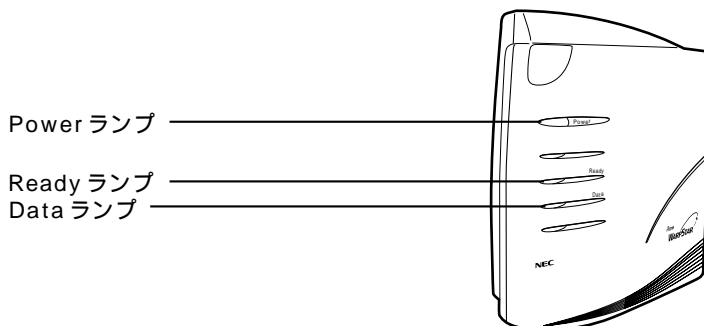
●構成品

⑦WARPSTARベース　WB20R保証書またはWL20R保証書

⑧ WARPSTARサテライト WL11U保証書またはWL11C保証書
（お買い上げのワイヤレスLANセットにより、どちらかが同梱されています。
※WB20Rには同梱されていません。）

⑨無線注意シール（WB20Rには同梱されていません。）

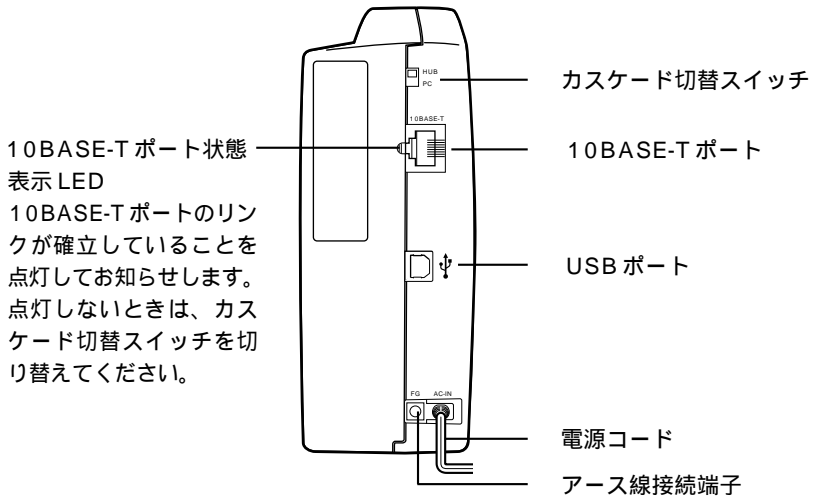
1-3 各部の名前とはたらき

WARPSTARベース（WB20R／WL20R）

●前面図

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方（色）	本装置の状態
① Power ランプ	緑（点灯）	電源が入っているとき
② Ready ランプ	緑（点灯）	USB ポートにパソコンが接続されているとき（USB ドライバが正しくインストールされているとき）
③ Data ランプ	緑（点灯）	LAN で接続されたパソコンでデータ送受信中

●背面図

10BASE-T ポートのリンクが確立していることを点灯してお知らせします。点灯しないときは、カスケード切替スイッチを切り替えてください。

①カスケード切替スイッチ
10BASE-T ポートに接続する機器（ブロードバンドモデムおよび無線 HUB モードでの上位ハブ）により切り替えます。
(☛P2-26、2-54、4-27)
切り替えるときは、細く硬いもの（つまようじの先など）を使ってください。

②10BASE-T ポート
ブロードバンドモデム接続、または無線 HUB モードでの上位ハブとの接続に使用します。

③USB ポート
添付の USB ケーブルを使って、パソコンの USB ポートに接続します。

④電源コード
AC100V の家庭用電源コンセントに接続します。

⑤アース線接続端子
アース線を取り付ける端子です（アース線は添付されていません）。

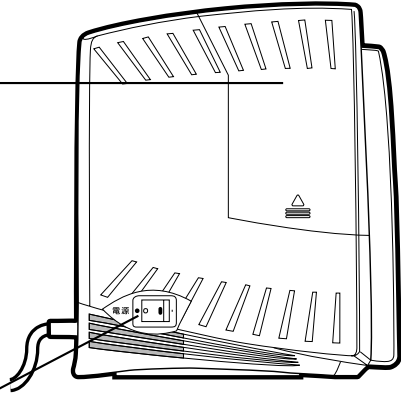
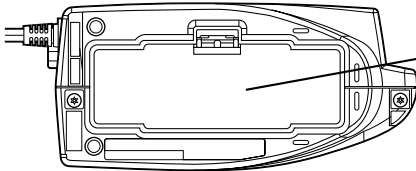
●側面図

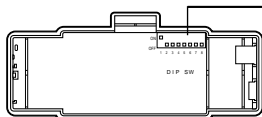
①拡張カードスロットカバー（WB20Rのみ）

拡張カードスロットカバーを取り外し、WL11C（別売）を装着するとWL20Rと全く同様のワイヤレスLAN通信がご利用できます。（ワイヤレスLAN通信を行うには、さらに別売のWARPSTARサテライトのWL11CまたはWL11Uが必要です。）

②電源スイッチ

電源の入／切を切り替えるスイッチです。電源を入れるときは「I」側を押します。

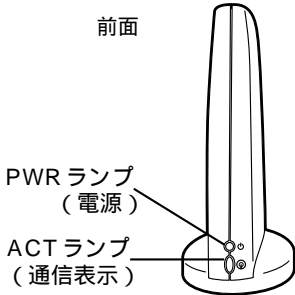
●底面図

①カバー

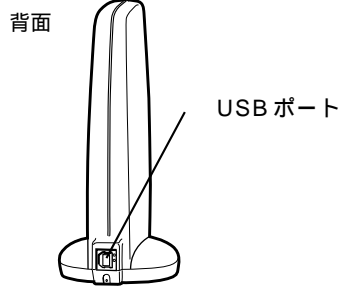
ディップスイッチを設定するときはこのカバーを外します。

<カバー内部>

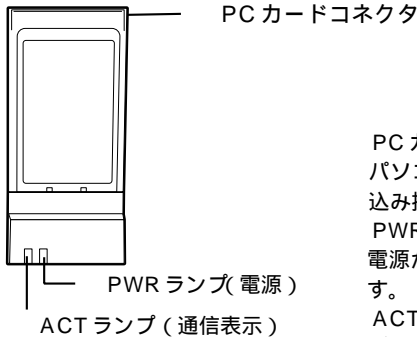
②ディップスイッチ

特別な設定をするときに使用します。（☛P6-4）

WARPSTAR サテライト（WL11U）／（WL11C）

WL11U

① PWR ランプ（電源）
電源が入っているとき緑色で点灯します。

② ACT ランプ（通信表示）
データ通信中に緑色で点滅します。

③USB ポート
添付の USB ケーブルを使って、パソコンの USB ポートに接続します。

WL11C

① PC カードコネクタ
パソコンの PC カードスロットに差し込み接続します。

② PWR ランプ（電源）
電源が入っているとき緑色で点灯します。

③ ACT ランプ（通信表示）
データ通信中に緑色で点滅します。

お願い

●PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

お知らせ

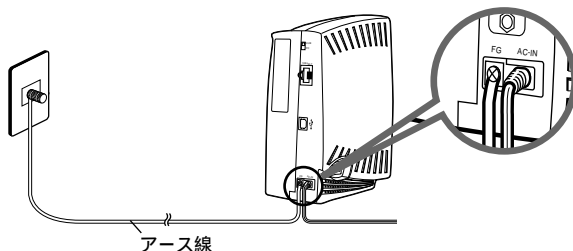
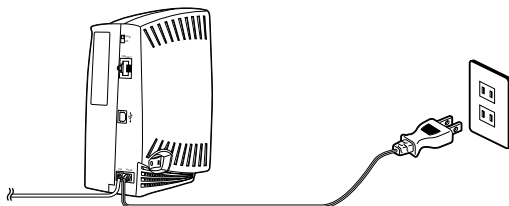
●WL11C（別売）は、WB20R の拡張カードスロットに装着することもできます。（☞P1-10）

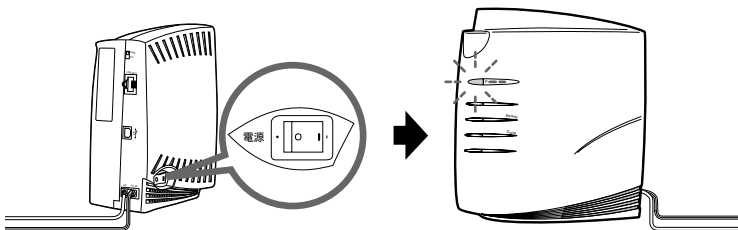
1-4 WARPSTARベースを接続するための準備

WARPSTARベースの電源を入れる

アース線を接続して電源コードを電源コンセントに接続し、WARPSTARベースの電源スイッチを入れます。

1 WARPSTARベースのアース線接続端子を壁のアース端子に接続する

アース線は添付されていませんので、別途購入してください。
アース線は漏電や落雷などが起こった場合に、人身への傷害や機器の損傷を防止するためのものです。

2 WARPSTARベースの電源コードを壁の電源コンセントに接続する

3 WARPSTARベースの電源スイッチを入れる（「I」側を押す）

しばらくして（Powerランプ、Readyランプ、Dataランプが点滅したあと）Powerランプが緑色に点灯します。

お願い

●電源を切ると、WARPSTARサテライトに接続したパソコンでの通信ができなくなります。

ブロードバンドモデムに接続する

●CATV ケーブルモデムやルータタイプの ADSL モデムなどに接続する場合は、「2-1　CATV でインターネット接続しよう」にしたがって接続してください。
●フレッツ ADSL などの ADSL（PPPoE）モデムに接続する場合は、「2-2　ADSL でインターネット接続しよう」にしたがって接続してください。

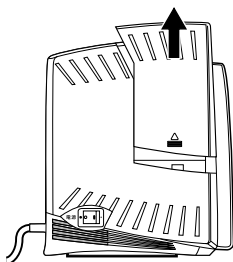
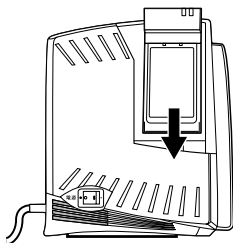
WB20R に WL11C（別売）を取り付けるには

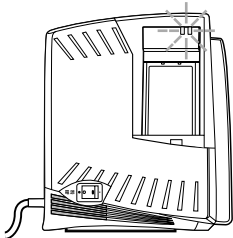
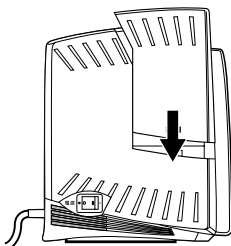
WB20R に WL11C（別売）を装着し、さらに WARPSTAR サテライト（別売りの WL11U や WL11C）を登録設定すれば、WL20R と全く同様のワイヤレス LAN がご利用できます。
（ワイヤレス LAN 通信を行うにはさらに別売の WARPSTAR サテライト WL11C または WL11U が必要です。）
本体の USB ポートに接続したパソコンの他、WARPSTAR サテライトに接続したパソコンから、ワイヤレスでインターネットに接続したり、パソコン間でのデータの共有が可能となります。

■拡張カードスロットに WL11C（別売）を取り付ける

1 **WB20R の電源スイッチを切る（「○」側を押す）**

Power ランプが消灯していることを確認してください。

2 **WB20R の側面の拡張カードスロットカバーをはずす**

3 **別売り WL11C を拡張カードスロットに装着する**

4 **WB20R の電源スイッチを入れる（「I」側を押す）**

5 **拡張カードスロットに装着した WL11C の PWR ランプが緑色に点灯し、ACT ランプが点滅することを確認する**

6 **WB20R の電源スイッチを切って（「○」側を押す）、拡張カードスロットカバーを装着する**

2 インターネットをしましょう

インターネットやLANをご利用になる前に、この章をお読みになり、WARPSTARとパソコンを接続してください。最初にどのポートに接続するかを確認してください。接続するポートごとに、ドライバのインストールからLANの設定まで、パソコンを接続するときに必ず行わなければならない設定について説明しています。

2

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

2-1 CATV でインターネット接続しよう

ここでは、CATV モデム、ルータタイプの ADSL モデム（以降ブロードバンドモデムと呼びます）、その他の既存の LAN に接続してインターネット接続する場合を説明しています。

パソコンと接続するポートを確認する

お使いのパソコンに搭載されているポートの種類ごとに、接続のしかたを確認しましょう。ここでは確認するだけで、パソコンと WARPSTAR は接続しないでください。
※ポートの種類についてよくわからない方は、お使いのパソコンのポートと図をよく見比べて接続するポートを確認してください。

●接続ポートを確認する前に（WARPSTAR が対応している OS）
お使いのパソコンが WARPSTAR をご利用になれる環境になっているか確認してください。WARPSTAR は以下の OS でのみご利用になれます。
・Windows® Me　日本語版
・Windows® 98　日本語版
・Windows® 2000　日本語版
WARPSTAR 対応の OS をご利用の場合でも、お使いのパソコンの環境によっては、必要なネットワークコンポーネント（TCP/IP）がインストールされていない場合があります。必要なネットワークコンポーネントがインストールされているかどうかを確認し、インストールされていない場合は、添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」「1-2　ファイルとプリンタの共有」を参照してインストールしてください。

お願い

●Windows® Me ／ 98 をご利用の場合、同じパソコンに複数のサテライトや USB ポートを接続して同時に使用することはできません。

■ WARPSTAR ベースを接続する前に

WARPSTAR ベースを接続する前に次のことを確認しましょう。

1 ブロードバンドモデムと回線は正しく接続されていますか？

接続の方法や確認は、ブロードバンドモデムの取扱説明書を参照してください。
- **ルータタイプの ADSL モデム等で設定が必要な場合、「インターネットに接続する」（☞P2-27）までの設定をしてから設定してください。**

2 ブロードバンド接続事業者およびプロバイダ会社とのインターネット接続契約はお済みですか？

・WARPSTAR をお使いになる前に、ブロードバンド接続事業者およびプロバイダ会社との契約を済ませておいてください。
・WARPSTAR の接続および設定には、下記のものが必要です。
①ブロードバンドモデム
② IP アドレスなどの設定情報
・また、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。

■ PC カードタイプ WARPSTAR サテライトを使用する

PC カードスロットがあるパソコンには、WARPSTAR サテライト（WL11C）を取り付けることができます。ここではまだ接続しないでください。以下の順で設定を行ってください。

「WARPSTAR サテライト(WL11U)／(WL11C)にパソコンを接続する」(☛P2-7)

⬇

「インターネットの接続設定をする」(☛P2-23)

お願い

●WARPSTAR サテライト（WL11C）をパソコンに取り付けるためには、32 ビット PC カードドライバが正常にインストールされている必要があります。

●WARPSTAR サテライト（WL11C）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。

●WB20R の場合は拡張カードスロットに WL11C（別売）を装着して、ワイヤレス LAN 対応に拡張する必要があります。

●Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと WARPSTAR サテライトのドライバが正しくインストールできない場合があります。LAN カード機能を停止させてから、WARPSTAR 導入ウィザードの設定を行ってください。(☛P2-16)

■USBタイプWARPSTARサテライトを使用する

USBポートがあるパソコンには、WARPSTARサテライト（WL11U）を取りつけることができます。ここではまだ接続しないでください。以下の順で設定を行ってください。

WARPSTARサテライト（WL11U）に接続する場合

「WARPSTARサテライト(WL11U)／(WL11C)にパソコンを接続する」(☛P2-7)

お願い

●WL11Uはパソコンからの給電のみで動作します。使用するUSBポートの給電能力が500mAを保証しているパソコンまたはUSBハブをご使用ください。

●WB20Rの場合は拡張カードスロットにWL11C（別売）を装着してワイヤレスLAN対応に拡張する必要があります。

●**スタンバイやサスペンド機能は使用しないでください。**
WL11Uを接続したままパソコンをスタンバイ／サスペンド状態にすると、お使いのパソコン環境によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。パソコンのスタンバイやサスペンド機能を無効にしてご使用ください。

●**WARPSTARサテライト（子機）を複数接続しないでください。**
WARPSTARサテライト（WL11U）／（WL11C）を同じパソコンに複数同時に接続することはできません。また、他のネットワークデバイス（USB-LANポート、10BASE-Tポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、必ず使用するネットワークデバイスは1つのみにしてください。

●**デバイスマネージャの［電源の管理］タブの設定は変更しないでください。**
Windows®のデバイスマネージャでWL11Uのプロパティを開くと、［電源の管理］タブが表示されることがありますが、［電源の管理］タブ内の設定は初期状態から変更しないでください。変更するとパソコンの動作が不安定になる場合があります。もし、誤って変更してしまった場合は再度［電源の管理］タブを表示して、初期状態に戻すか、ドライバアンインストーラを起動してWL11Uドライバをアンインストールし、WARPSTAR導入ウィザードから再インストールを行ってください。

●Ethernetインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカード機能を停止させないとWARPSTARサテライトのドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカード機能を停止させてから、WARPSTAR導入ウィザードの設定を行ってください。
(☛P2-16)

［電源の管理］タブの初期状態

■ Windows® 98

節電のためにコンピュータの電源を自動的に切る	有効
コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う	無効

■ Windows® Me

節電のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする	有効
コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う	無効

■ Windows® 2000

電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする	有効
このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができる	無効

●サテライトマネージャやアクセスマネージャ起動中に USB ケーブルを抜き挿しするとパソコン動作が不安定になる場合があります。

サテライトマネージャやアクセスマネージャ起動中は、USB ケーブルの抜き挿しをしないでください。お使いのパソコン環境によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。ケーブルの抜き挿しを行う場合は、サテライトマネージャやアクセスマネージャをパソコンのタスクトレイから終了した後に行うか、パソコンの電源を切ってから行ってください。

●WL11U では装置ごとにハードウェアウィザードが起動します。

WL11U は、装置ごとに固有のシリアル番号を保持しているため、Windows® はそれぞれを別のデバイスとして検出します。

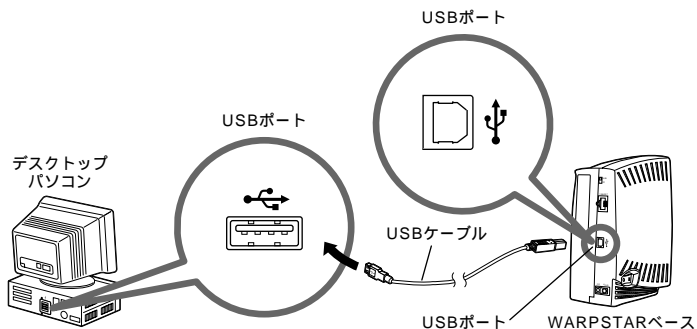
例えば、2 台以上の WL11U をお持ちの場合、1 台目の WL11U を使って正しくデバイスドライバをインストールしたパソコンに別の 2 台目の WL11U を接続すると、新たに Windows® のハードウェアウィザードが起動し、別のデバイスドライバのインストールをはじめます。ハードウェアウィザード画面の指示に従ってインストール操作を進めることで 2 台目の WL11U もネットワークデバイスとしてインストールすることもできます。ただし、ネットワークデバイスのプロパティ情報（TCP/IP プロトコルの設定等）を変更しているお客様は、プロパティ情報を再設定する必要がありますのでご注意ください。

複数の WL11U をお持ちの場合は、パソコンごとに使用する WL11U を決めてお使いいただくことをお勧めします。

※正常に動作しない場合の対策

1 台のパソコンに多数の WL11U を組み込んだり、2 台目以降の WL11U インストール時にハードウェアウィザードの操作を誤ると、正常に動作しない場合があります。

その場合は、らくらくアシスタントの「ドライバのアンインストール」を起動して、いったん WL11U ドライバをアンインストールしてから、もう一度らくらくアシスタントの「WARPSTAR 導入ウィザード」を起動して WL11U のインストールを行ってください。（アンインストーラでは、複数の WL11U の設定を全て削除します）

■ WARPSTAR ベースの USB ポートを使用する

お使いのパソコンに USB ポートがある場合は、WARPSTAR ベースの USB ポートに、添付品の USB ケーブルで接続することができます。ここではまだ接続しないでください。以下の手順で設定を行ってください。

WARPSTAR ベースに接続する場合

「WARPSTAR ベースの USB ポートにパソコンを接続する」(☛P2-18)

⬇

「インターネットの接続設定をする」(☛P2-23)

- USB 接続でご使用いただく場合、ご使用になるパソコンによっては、スタンバイやサスペンド機能が使用できない場合があります。
  あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと WARPSTAR サテライトのドライバが正しくインストールできない場合があります。LAN カード機能を停止させてから、WARPSTAR 導入ウィザードの設定を行ってください。(☛P2-16)

WARPSTARサテライト（WL11U）／（WL11C）にパソコンを接続する

WARPSTARサテライト（WL11U）／（WL11C）にパソコンを接続するときは、①ドライバのインストール→②パソコンの接続→③LANの設定の順で設定を行っていきます。これらは、すべてらくらくアシスタントの［WARPSTAR導入ウィザード］で行います。まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタントをインストールしてください。

お願い

●Ethernetインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカード機能を停止させないとWARPSTARサテライトのドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカード機能を停止させてから、WARPSTAR導入ウィザードの設定を行ってください。（☛P2-16）
●WARPSTARサテライトを増設するときは、それぞれにP2-7～P2-17の設定を行ってください。
●ユーティリティの指示があるまでWL11U、WL11Cをパソコンに接続しないでください。
●WB20RでWARPSTARサテライトによるワイヤレスLAN機能をご利用になるには、別売のWL11Cを拡張カードスロットに取りつけ、別途WARPSTARサテライトをご購入いただく必要があります。

■らくらくアシスタントをインストールする

1　Windows® Me/Windows® 98/Windows® 2000を起動する

2　添付のCD-ROM「Aterm WARPSTARユーティリティ集（ブロードバンド対応）」をCD-ROMドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。
メニューが表示されないときは（☛P2-9）
ユーティリティのメニュー画面が表示されます。

3　［WARPSTARらくらくアシスタントのインストール］をクリックする

4　［次へ］をクリックする

（次ページに続く）

5 [次へ] をクリックする

6 画面の同意書を読み、同意できる場合は [次へ] をクリックする

7 セットアップ方法を選択して、[次へ] をクリックする

[標準] を選択すると、インターネットや LAN への接続に必要なユーティリティがインストールされます。
[完全] を選択すると、[標準] に加えて LAN 機能の詳細を設定するユーティリティであるベースマネージャもインストールされます。

8 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ] をクリックする

インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックして変更してください。

9 [はい] をクリックする

インストールが開始します。

10 [READMEの表示] にチェックが入っていることを確認し、[完了] をクリックする

11 README をよく読んで、［README］画面を閉じる

インストールが完了し、WARPSTAR導入ウィザードが起動します。

12 続けてWARPSTAR導入ウィザードでLANの設定を行う

? らくらくアシスタントを起動するには

らくらくアシスタントを終了させた後に、再度らくらくアシスタントを起動するときは、［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］—［Aterm WARPSTARユーティリティ］—［Aterm WARPSTARらくらくアシスタント］をクリックします。

お知らせ

●添付のCD-ROMをセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

①Windows® の［スタート］ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する

②名前の欄に、CD-ROMドライブ名と\Menu.exeと入力し、［OK］をクリックする（例：CD-ROMドライブ名がQの場合、Q:\Menu.exe）

●WARPSTARらくらくアシスタントをインストールすると、インターネット接続やWARPSTARの設定に必要な以下のユーティリティが自動的にインストールされます。

・WARPSTARらくらくアシスタント
・WARPSTARアクセスマネージャ
・WARPSTARサテライトマネージャ（サテライトをインストールした場合のみ）
・WARPSTARベースマネージャ（セットアップの方法で［完全］を選択してインストールした場合のみ）

※WARPSTARベースマネージャは、あとからインストールすることもできます。（☞P3-6）

■WARPSTAR導入ウィザードで設定する（サテライト）

1 **WARPSTAR導入ウィザードを起動する**

初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外は、らくらくアシスタントを起動しメニュー画面で［WARPSTAR導入ウィザード］ボタンをクリックしてください。

2 **［次へ］をクリックする**

3 **WARPSTARの動作モードを選択して、［次へ］をクリックする**

CATVケーブルモデムや、ルータタイプのADSLモデムなどに接続する場合は、［ローカルルータモード］を選択します。

4 **［ワイヤレスLAN（USBボックス）］または［ワイヤレスLAN（カード）］のどちらかをチェックして、［次へ］をクリックする**

WL11Uをご利用の場合は［ワイヤレスLAN（USBボックス）］、WL11Cをご利用の場合は［ワイヤレスLAN（カード）］をクリックしてください。

5 ［実行］をクリックする

6 次の画面が表示されたら、WARPSTAR サテライトをパソコンに接続（WL11U）、または取り付け（WL11C）する

●画面は WL11C の場合です

● WL11U を接続する

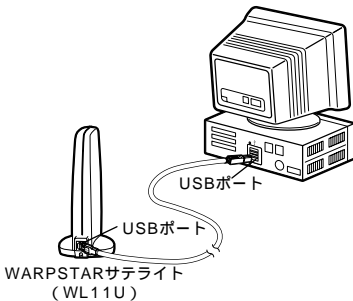
WL11U の USB ポートとパソコンの USB ポートを添付の USB ケーブルで接続する

コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。

WARPSTARサテライト
（WL11U）

● WL11C を取り付ける

パソコンのカードスロットに WL11C を取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

WARPSTARサテライト
（WL11C）

ドライバが自動的にインストールされます。

ドライバをアンインストールしたいときは（☛P2-15）を参照してください。

7 ［次へ］をクリックする

8 WARPSTAR ベースの電源をいったん切ったあと、再び電源を入れる

しばらくして、（Power ランプ、Ready ランプ、Data ランプが交互に点灯したあと）Power ランプが緑色に点灯します。

（次ページに続く）

9 WARPSTARベースの電源を入れたあと［実行］をクリックする

WARPSTARベースを検索します。（ネットワークの参照といいます。）

10 接続するWARPSTARベースのネットワーク名を選択して［OK］をクリックする

お知らせ

●工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-××××××」（××××××はWARPSTARベースの背面に記載されている10BASE-TのMACアドレス下6桁です。）

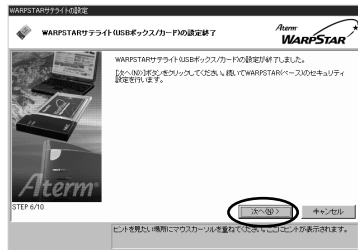
お願い

●WARPSTARベースの電源を入れたあと、30分以内に左記手順9を行ってください。
「ネットワークが見つかりません。」と表示された場合は［OK］をクリックして［ネットワーク名］の欄に直接ネットワーク名を入力してください。

11 ［OK］をクリックする

［通信モード］は［アクセスポイント通信］の設定のままにしてください。
サテライトマネージャの設定が終了します。

12 ［次へ］をクリックする

お願い

●「WARPSTARに接続できませんでした。」と表示された場合は、P2-15「こんなときは」を参照してください。

13 LANの設定を入力する

①［管理者用パスワード］にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の英数字半角20文字まで入力できます。
②［装置名］には、WARPSTARベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

※WARPSTARベースに「管理者用パスワード」が登録済みの場合は、この画面はスキップされます。

14 ［次へ］をクリックする

15 パソコンを起動したときに自動起動するユーティリティを設定する

［アクセスマネージャをWindows起動時に自動的に起動する］がチェックされていることを確認します。
サテライトマネージャを自動的に起動するときは、［サテライトマネージャをWindows®起動時に自動的に起動する］をチェックします。

16 ［次へ］をクリックする

17 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

設定内容をWARPSTARベースに登録します。

※パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して［OK］をクリックします。

18 ［設定終了］をクリックする

設定の登録が終了し、らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。初めてらくらくアシスタントをインストールしたときは、［接続設定］をクリックすると、自動的にインターネット接続ウィザードが起動します。P2-23の手順3に進みます。

（次ページに続く）

19 続けてインターネット接続の設定を行う

らくらくアシスタントからWARPSTAR導入ウィザードを起動した場合は、P2-23に進みます。

お知らせ

●初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外でWARPSTAR導入ウィザードを起動するときは、らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面で［WARPSTAR導入ウィザード］ボタンをクリックしてください。
●管理者用パスワードは、WARPSTARベースをベースマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチでWARPSTARベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。(☛P5-5)

●WL11Cの取り扱いについて

〈取り付けるとき〉

・WL11Cのコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

〈取り外すとき〉

・WL11Cを取り外すときは、以下の操作でPCカードを取り外せる状態にしてから取り外してください。
　①タスクトレイのPCカードアイコンを左クリックする
　②［Aterm WL11C（PC-WL/11C）の停止］をクリックする（Windows® 98の場合は［Aterm WL11C（PC-WL/11C）の中止］をクリックする）
　③「'Aterm WL11C（PC-WL/11C）' は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、［OK］をクリックする
　④WL11Cを取り外す

お願い

●WL11Cの取り付け位置はパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書を参照し、各メーカーの定める手順にしたがって取り付けてください。
●らくらくアシスタントが起動しないなどの理由で、手動でWARPSTARをセットアップする場合は、添付のCD-ROMに収録されている「データ通信詳細ガイド」「4　ドライバの手動インストール」を参照してください。

こんなときは

次の画面が表示された場合は、①～⑥を確認して［再試行］をクリックしてください。パソコンのタスクトレイに「アクセスマネージャ」のアイコンが表示されている場合は、①～⑥の操作の前に、「アクセスマネージャ」のアイコンを右クリックし、［終了］をクリックして「アクセスマネージャ」を終了させてから行ってください。

〈Windows® Me/98 の場合〉

① [スタート]－[ファイル名を指定して実行(R)] をクリックする
②“ winipcfg ” を入力して ［OK] をクリックする
③ Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウの ▼ をクリックして“ WL11U(PC-WL/11U) ” を選択する
④ [すべて書き換え(W)] をクリックする
⑤ IP アドレスが “ 192.168.0.××× ” になることを確認する
⑥ [OK] をクリックする

※手順③は WARPSTAR サテライト(WL11U)の場合です。
WARPSTAR サテライト(WL11C)のときは “ WL11C(PC-WL/11C) ” を選択してください。

WARPSTAR サテライトのドライバをアンインストールするには

① らくらくアシスタントを起動する
② [ドライバのアンインストール］をクリックする
③ 画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する
④ アンインストールするドライバを選択する
⑤ 画面の指示に従ってアンインストールを行う

LANカード機能を停止させるには

Ethernetインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカード機能を停止させないとUSB-LANやWARPSTARサテライトが使用できない場合があります。以下の操作でLANカード機能を停止させてから、WARPSTAR導入ウィザードの設定を行ってください。

〈Windows® Me/98の場合〉

① [スタート] ボタン― [設定] ― [コントロールパネル] をクリックする
② [システム] アイコンをダブルクリックする
③ [デバイスマネージャ] タブをクリックする
④ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
⑤ 不要なネットワークアダプタを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする

⑥ [全般] タブの [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] をチェックして [OK] をクリックする

〈Windows® 2000の場合〉

① [スタート] ボタン― [設定] ― [コントロールパネル] をクリックする
② [システム] アイコンをダブルクリックする
③ [ハードウェア] タブをクリックする
④ [デバイスマネージャ] をクリックする
⑤ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックする

⑦ [無効] を選択する
⑧ [はい] をクリックする

■WARPSTARベースとの通信状態を確認する（サテライトマネージャ）

サテライトマネージャを起動すると、WARPSTARベースとWARPSTARサテライトの通信状態を確認することができます。

1　タスクトレイのサテライトマネージャのアイコンを右クリックする

2　［状態］をクリックする

WARPSTARベースとWARPSTARサテライトの通信状態が表示されます。

3　通信状態を確認したら、［閉じる］をクリックする

無線の通信状態が「良好」となることを確認してください。「良好」と表示されないときは、「良好」と表示される位置までパソコンを移動してください。
アクセスポイント名が正しく表示されていることも確認してください。

お知らせ

●WARPSTARは、無線データ通信を行ううえで必要なセキュリティ機能としてWEPとMACアドレスセキュリティを搭載しています。各設定方法の詳細については、「4-1 LANのデータ通信機能」を参照してください。（☛P4-2）

・**WEPとは**

WEP（Wired Equivalent Privacy）は、ユーザが指定した任意の文字列（キー）からデータの暗号化を行う機能です。これにより、WARPSTARベースとサテライトとの間で送受信される無線通信データを暗号化して保護することができます。

・**MACアドレスセキュリティ機能とは**

お使いのWARPSTARが登録されたサテライトとのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、登録されていない他のサテライトからLANやインターネットへ接続するのを防ぐことができます。

WARPSTAR ベースの USB ポートにパソコンを接続する

WARPSTAR ベースの USB ポートにパソコンを接続するときは、①ドライバのインストール→②パソコンの接続→③ LAN の設定の順で設定を行っていきます。これらは、［WARPSTAR 導入ウィザード］で行います。まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタントをインストールして、WARPSTAR 導入ウィザードを起動してください。

お願い

- Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと USB-LAN ドライバが正しくインストールされない場合があります。LAN カード機能を停止させてから、WARPSTAR 導入ウィザードの設定を行ってください。（☛P2-16）
- USB ケーブルは、ユーティリティの指示があるまで接続しないでください。

■らくらくアシスタントをインストールする

らくらくアシスタントのインストール方法は、「2-2　WARPSTAR サテライト（WL11U）／（WL11C）にパソコンを接続する」を参照してください。（☛P2-7 ～ P2-9）
らくらくアシスタントをインストールし、WARPSTAR 導入ウィザードが起動したら、下記の「WARPSTAR 導入ウィザードで設定する（USB ポート）」を行ってください。

■ WARPSTAR 導入ウィザードで設定する（USB ポート）

1

WARPSTAR 導入ウィザードを起動する

初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外は、らくらくアシスタントを起動しメニュー画面で［WARPSTAR 導入ウィザード］ボタンをクリックしてください。

2

［次へ］をクリックする

3 WARPSTAR の動作モードを選択して、［次へ］をクリックする

CATV ケーブルモデムや、ルータタイプの ADSL モデムなどに接続する場合は、［ローカルルータモード］を選択します。

4 ［USB ポート］をクリックし、［次へ］をクリックする

5 次の画面が表示されたら、［実行］をクリックする

6 WARPSTAR ベースの電源が入っていることを確認する

7 次の画面が表示されたら、パソコンを添付の USB ケーブルで WARPSTAR ベースの USB ポートに接続する

コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。

ドライバが自動的にインストールされます。

2 インターネットをしましょう

（次ページに続く）

8 ［次へ］をクリックする

9 LANの設定を入力する

①［管理者用パスワード］にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。
②［装置名］には、WARPSTARベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

お願い

●管理者用パスワードは、あとで必要になります。忘れないようお願いします。

※WARPSTARベースに「管理者用パスワード」が登録済みの場合は、この画面はスキップされます。

10 ［次へ］をクリックする

11 パソコンを起動したときにアクセスマネージャが自動起動するかどうかを設定する

［アクセスマネージャをWindows起動時に自動的に起動する］がチェックされていることを確認します。

12 ［次へ］をクリックする

13 設定内容を確認し［実行］をクリックする

設定内容をWARPSTARベースに登録します。

※パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して［OK］をクリックします。

14 ［設定終了］をクリックする

設定の登録が終了し、らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。初めてらくらくアシスタントをインストールしたときは、［接続設定］をクリックすると、自動的にインターネット接続ウィザードが起動します。P2-23 の手順 3 に進みます。

15 続けてインターネット接続の設定を行う

らくらくアシスタントからWARPSTAR 導入ウィザードを起動した場合は、P2-23 に進みます。

お知らせ

●管理者用パスワードは、WARPSTAR ベースをベースマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチで WARPSTAR ベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。
（☛P5-5）

WARPSTAR ベースのドライバをアンインストールするには

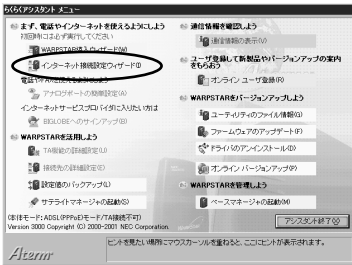
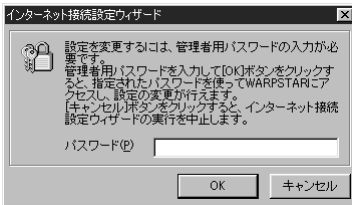
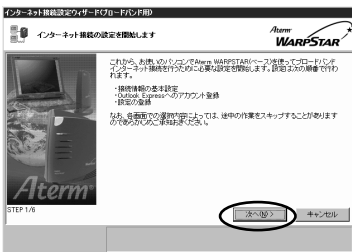
① らくらくアシスタントを起動する
② ［ドライバのアンインストール］をクリックする
③ 画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する
④ アンインストールするドライバを選択する
⑤ 画面の指示に従ってアンインストールを行う

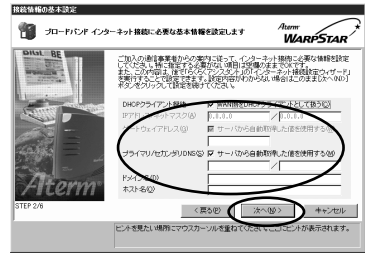
インターネットの接続設定をする

インターネットへの接続の設定は、らくらくアシスタントの案内で簡単に行うことができます。

■インターネット接続を設定する

1　［インターネット接続設定ウィザード］を起動する

初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外は、らくらくアシスタントを起動し（☞P3-3）［インターネット接続設定ウィザード］をクリックしてください。

2　WARPSTAR導入ウィザードで設定した管理者用パスワードを入力します

3　［次へ］をクリックする

4　ブロードバンドインターネット接続に必要な基本設定をする

ご加入の接続事業者の案内にしたがって入力してください。

DHCPクライアント機能

WARPSTARのWAN側をブロードバンド通信網のDHCPクライアントとして利用する場合は［WAN側をDHCPクライアントとして扱う］をチェックします。WARPSTARのWAN側に固定のIPアドレスを指定する場合はチェックをはずしてください。

IPアドレス/ネットマスク/DNS

WAN側に固定IPアドレスを使用する場合は、WARPSTARベースのWAN側のIPアドレス、ネットマスクを設定します。WAN側をDHCPクライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

（次ページに続く）

ゲートウェイアドレス

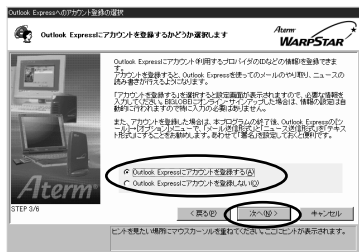
WARPSTARベースのWAN側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定の必要がない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリDNS／セカンダリDNS

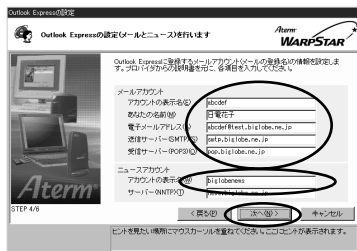
WARPSTARベースのWAN側のDNSサーバを設定します。接続網のサーバから自動取得する場合は空欄のままでかまいません。また、サーバから自動取得された値は入力された値よりも優先して使用されます。

ドメイン名／ホスト名

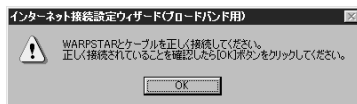
WARPSTARベースのWAN側のドメイン名、ホスト名を設定します。プロバイダから指定がない場合は空欄のままでかまいません。

5 Outlook Expressを使用する場合は、[Outlook Expressにアカウントを登録する]をクリックし、[次へ]をクリックする

Outlook Expressの設定をここでしない場合は、[Outlook Expressにアカウントを登録しない]をクリックし、手順7に進みます。

●Outlook Expressについては、Outlook Expressの取扱説明書を参照してください。

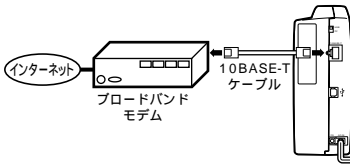
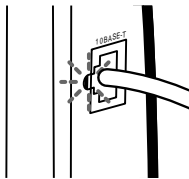
6 メールアカウントとニュースアカウントの情報を入力し、[次へ]をクリックする

7 設定内容を確認し、[実行]をクリックする

WARPSTARベースの設定が自動的に行われ、WARPSTARベースが再起動されます。

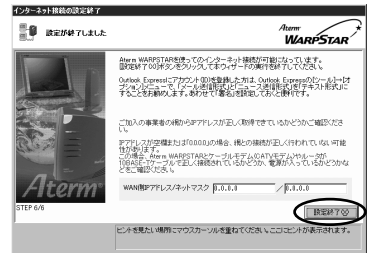
8 下の画面が表示されたら、WARPSTARベースとブロードバンドモデムを添付の10BASE-Tケーブルで接続する

■ブロードバンドモデムに接続する

①ブロードバンドモデムが、ブロードバンド通信網に正しく接続されていることを確認する。

②WARPSTARベースの電源が入っていることを確認する。

③WARPSTARベースの10BASE-Tポートとブロードバンドモデムを添付の10BASE-Tケーブル（ストレート）で接続する。

④10BASE-Tポート状態表示LEDが点灯していることを確認します。（点灯しない場合は次ページを参照してください。）

9 接続が正しく行われたことを確認して［OK］をクリックする

10 WAN側IPアドレスの欄にIPアドレスが表示されていることを確認し、［設定終了］をクリックする

らくらくアシスタントから導入ウィザードを起動した場合は、らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

WAN側IPアドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、次ページの「？WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合」をご覧ください。

お知らせ

ルータタイプのADSLなどブラウザを使ってインターネット接続のための設定が必要な場合は、アクセスマネージャを使ってインターネット接続（☞P2-27）してから、ブロードバンドモデムの取扱説明書にしたがって設定してください。

設定後、一時的にWAN側IPアドレスが取れなくなって切断される場合があります。アクセスマネージャの［状態］メニューから［IP再取得］を行ってIPを取りなおしてください。

2 インターネットをしましょう

? 10BASE-Tポート状態表示LEDが点灯しないときは

手順8の④で10BASE-Tポート状態表示LEDが点灯しないときは、WARPSTARベースとブロードバンドモデムが正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

①10BASE-Tケーブルの接続を確認する
いったん電源を切り、WARPSTARベースの10BASE-Tポートがブロードバンドモデムに10BASE-Tケーブル（ストレート）で正しく接続されているか確認してください。

②カスケード切り替えスイッチを切り替える
電源を切り、WARPSTARベースのカスケード切り替えスイッチを切り替えます。再度電源を入れてください。
これで問題が解決しない場合は、カスケード切り替えスイッチを戻しておきます。

③ブロードバンドモデムが回線と正しく接続されていることを確認する
10BASE-Tポートを搭載したパソコンをお持ちの場合は、ブロードバンドモデムに直接パソコンを接続して正しく動作することを確認してください。直接パソコンを接続しても正しく動作しない場合は、ブロードバンドモデムおよび通話回線に問題があります。ご契約の通信事業者にご相談ください。

④①～③を行っても解決しない場合は、WARPSTARベースを初期化する
WARPSTARベースの設定を購入時の状態に戻します。初期化する方法については、「5-2 WARPSTARを初期化する」（☛P5-4）を参照してください。

⑤WARPSTARベースの自己診断を行う
「5-3 自己診断」（☛P5-6）を参照して、WARPSTARベースの自己診断を行ってください。

①～⑤を行っても問題が解決しないときは、WARPSTARベースが故障している場合があります。最寄りのNEC保守サービス受付拠点（☛P6-11）へお問い合わせください。

? WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合

WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
まずはアクセスマネージャのメニュー［状態］で［ブロードバンド］タブを表示させ、［詳細］表示のIPアドレスをご確認ください。
IPアドレスが表示されていない場合は、［IP再取得］ボタンを選択し、IPアドレスが正しく表示されていることをご確認ください。
［IP再取得］でもIPアドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデムがエラー表示していないか、またはWARPSTARベースの背面の10BASE-Tポート状態表示LEDが点灯しているか確認してください。

インターネットに接続する

■アクセスマネージャで接続状態を確認する

インターネットへの接続／切断の操作や回線状態の表示はタスクトレイの「アクセスマネージャ」で行います。

●タスクトレイの「アクセスマネージャ」のアイコン表示

WARPSTARベースとの通信が可能でインターネット接続されていない状態

ローカルルータモードでインターネットと接続中

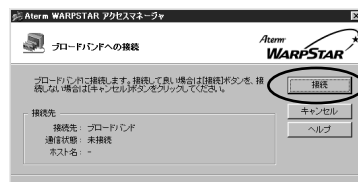
WARPSTARベースとの通信ができない状態

●アクセスマネージャの使い方
①タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする。
②ポップアップメニューから、行いたい操作を選択する
・状態（接続状態を確認できます）
・ブロードバンド接続（手動でブロードバンドインターネットへの接続を行います）
・切断（手動で切断を行います）
・オプションの設定（オプションの設定画面を表示します）（☛P4-34）
・ログの表示（WARPSTARのログを表示します）（☛P4-12）
・らくらくアシスタント（らくらくアシスタントを起動します）
・Windows®起動時に自動起動する（アクセスマネージャをWindows®起動時に自動起動するよう登録または解除します）
・ヘルプ（ヘルプを起動します）
・終了（アクセスマネージャを終了します）

■ブロードバンドでインターネットに接続する

1 **タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする**

2 **メニューから［ブロードバンド接続］をクリックする**

3 **［接続］をクリックする**

インターネット接続が開始されます。

（次ページに続く）

4 WWWブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを起動する

接続中は、インターネットアプリケーションを利用することができます。Atermには、インターネットアプリケーションは添付していません。Windows®に付属のものをご利用になるか、別途ご用意ください。

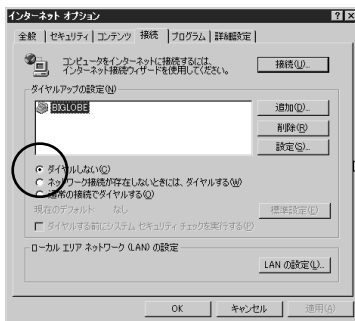
5 終了するときは、タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする

6 ［切断］をクリックする

お知らせ

●Windows® Me／98／2000でご利用の場合には、WWWブラウザ（Internet Explorer等）やメールソフトの設定がLAN接続の設定になっている必要があります。
ブラウザやメールソフトを起動したときに、アクセスマネージャの「プロバイダへの接続」が起動せずにダイヤルアップ接続が起動してしまう場合には、ダイヤルアップ接続する設定になっていますので設定を変更してください。
設定の変更方法についての詳細は各ソフトウェアの製造メーカー（Microsoft等）にご確認ください。

以下はInternetExplorer5の場合の設定方法の一例です。
お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェア等）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

①デスクトップのInternetExplorerのアイコンをダブルクリックして、InternetExplorerを起動します。
②「ツール」の「インターネットオプション」を選択します。
③「接続」タブをクリックします。
④ダイヤルアップの設定の欄で、「ダイヤルしない」を選択してください。

また、プロバイダ専用のCD-ROMやパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）はダイヤルアップ接続（モデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。
その場合WARPSTARにLAN接続されたパソコンからは実行できません。
プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

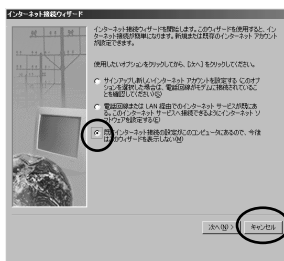
お知らせ

●Windows® 98をご使用の場合でデスクトップにWWWブラウザソフト（Internet Explorer）のアイコンがないときは、以下の手順で［Internet Explorer］アイコンを作成します。

①デスクトップの「インターネットに接続」アイコンをダブルクリックします。
「インターネット接続ウィザード」画面になります。

②「既にインターネット接続の設定が・・・表示しない」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

③［インターネット接続ウィザード］を終了します。
デスクトップに［Internet Explorer］と［Outlook Express］のアイコンが表示されます。

お願い

●タスクトレイのアクセスマネージャのアイコンが下記の状態の間は、接続したままの状態が続いています。（WWWブラウザなどのアプリケーションを終了しても自動的に切断されません。）セキュリティの向上のためインターネットを使用していないときは、アイコンを右クリックして［切断］をクリックして忘れずに切断してください。

●接続先のプロバイダやサーバ、接続時間帯、データ転送の特徴などにより、接続回線速度のパフォーマンスが十分得られないことがあります。

●USBポートにパソコンを接続して通信アプリケーションを実行中に、USBケーブルを抜いたり電源を切ったりすると、通信アプリケーションとUSBドライバとの結合をシステムが解放します。引き続き通信アプリケーションをご利用になる場合は、通信アプリケーションをいったん終了して、正しく接続しなおしてから再度実行してください。

2-2 ＡＤＳＬでインターネット接続しよう

パソコンと接続するポートを確認する

お使いのパソコンに搭載されているポートの種類ごとに、接続のしかたを確認しましょう。ここでは確認するだけで、パソコンと WARPSTAR は接続しないでください。

※ポートの種類についてよくわからない方は、お使いのパソコンのポートと図をよく見比べて接続するポートを確認してください。

●接続ポートを確認する前に（WARPSTAR が対応している OS）

お使いのパソコンが WARPSTAR をご利用になれる環境になっているか確認してください。WARPSTAR は以下の OS でのみご利用になれます。

・Windows® Me　日本語版
・Windows® 98　日本語版
・Windows® 2000　日本語版

WARPSTAR 対応の OS をご利用の場合でも、お使いのパソコンの環境によっては、必要なネットワークコンポーネント（TCP/IP）がインストールされていない場合があります。必要なネットワークコンポーネントがインストールされているかどうかを確認し、インストールされていない場合は、添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」「1-2　ファイルとプリンタの共有」を参照してインストールしてください。

お願い

●Windows®　Me ／ 98 をご利用の場合、同じパソコンに複数のサテライトや USB ポートを接続して同時に使用することはできません。

■ WARPSTAR ベースを接続する前に

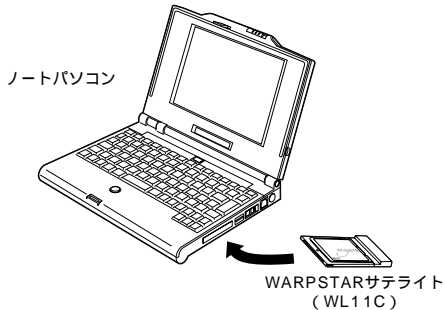
WARPSTAR ベースを接続する前に次のことを確認しましょう。

1 ADSL（PPPoE）モデムと回線は正しく接続されていますか？

接続の方法や確認は、ADSL（PPPoE）モデムの取扱説明書を参照してください。

2 ADSL 接続事業者およびプロバイダ会社とのインターネット接続契約はお済みですか？

・WARPSTAR をお使いになる前に、ADSL 接続事業者およびプロバイダ会社との契約を済ませておいてください。
・WARPSTAR の接続および設定には、下記のものが必要です。
　①ADSL（PPPoE）モデム（10BASE-T ポートがある ADSL モデム）※ USB ポートの ADSL モデムには、接続できません。
　②IP アドレスなどの設定情報
　③ADSL（PPPoE）接続のための接続事業者からのユーザ ID、プロバイダからのパスワードなどの接続情報
・また、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。
・ルータタイプの ADSL モデムの場合は、「2-1CATV でインターネット接続しよう」の手順で接続してください（ローカルルータモード）。

■PC カードタイプ WARPSTAR サテライトを使用する

PC カードスロットがあるパソコンには、WARPSTAR サテライト（WL11C）を取り付けることができます。ここではまだ接続しないでください。以下の順で設定を行ってください。

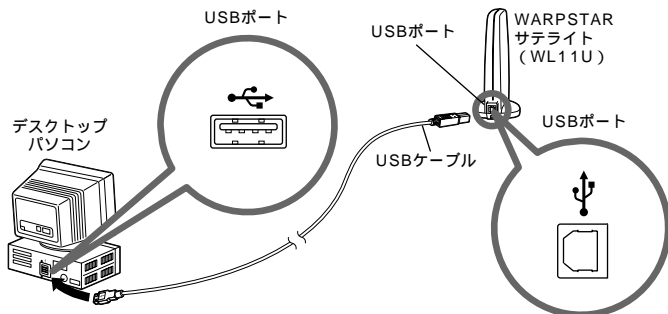
「WARPSTAR サテライト（WL11U）／（WL11C）にパソコンを接続する」（☛P2-35）

⬇

「インターネットの接続設定をする」（☛P2-51）

お願い

● WARPSTAR サテライト（WL11C）をパソコンに取り付けるためには、32 ビット PC カードドライバが正常にインストールされている必要があります。
● WARPSTAR サテライト（WL11C）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
● WB20R の場合は拡張カードスロットに WL11C（別売）を装着して、ワイヤレス LAN 対応に拡張する必要があります。
● Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと WARPSTAR サテライトのドライバが正しくインストールできない場合があります。LAN カード機能を停止させてから、WARPSTAR 導入ウィザードの設定を行ってください。（☛P2-44）

■USB タイプ WARPSTAR サテライトを使用する

USB ポートがあるパソコンには、WARPSTAR サテライト（WL11U）を取りつけることができます。ここではまだ接続しないでください。以下の順で設定を行ってください。

WARPSTAR サテライト（WL11U）に接続する場合

「WARPSTAR サテライト（WL11U）／（WL11C）にパソコンを接続する」（☛P2-35）

お願い

●WL11U はパソコンからの給電のみで動作します。使用する USB ポートの給電能力が 500mA を保証しているパソコンまたは USB ハブをご使用ください。

●WB20R の場合は拡張カードスロットに WL11C（別売）を装着してワイヤレス LAN 対応に拡張する必要があります。

●**スタンバイやサスペンド機能は使用しないでください。**
WL11U を接続したままパソコンをスタンバイ／サスペンド状態にすると、お使いのパソコン環境によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。このような場合は、パソコンのスタンバイやサスペンド機能を無効にしてご使用ください。

●**WARPSTAR サテライト（子機）を複数接続しないでください。**
WARPSTAR サテライト（WL11U）／（WL11C）を同じパソコンに複数同時に接続することはできません。また、他のネットワークデバイス（USB-LAN ポート、10BASE-T ポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、必ず使用するネットワークデバイスは 1 つのみにしてください。

●**デバイスマネージャの［電源の管理］タブの設定は変更しないでください。**
Windows® のデバイスマネージャで WL11U のプロパティを開くと、［電源の管理］タブが表示されることがありますが、［電源の管理］タブ内の設定は初期状態から変更しないでください。変更するとパソコンの動作が不安定になる場合があります。もし、誤って変更してしまった場合は再度［電源の管理］タブを表示して、初期状態に戻すか、ドライバアンインストーラを起動して WL11U ドライバをアンインストールし、WARPSTAR 導入ウィザードから再インストールを行ってください。

●Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと WARPSTAR サテライトのドライバが正しくインストールできない場合があります。LAN カード機能を停止させてから、WARPSTAR 導入ウィザードの設定を行ってください。（☛P2-44）

［電源の管理］タブの初期状態

■ Windows® 98

節電のためにコンピュータの電源を自動的に切る	有効
コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う	無効

■ Windows® Me

節電のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする	有効
コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う	無効

■ Windows® 2000

電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする	有効
このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができる	無効

●サテライトマネージャやアクセスマネージャ起動中に USB ケーブルを抜き挿しするとパソコン動作が不安定になる場合があります。

サテライトマネージャやアクセスマネージャ起動中は、USB ケーブルの抜き挿しをしないでください。お使いのパソコン環境によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。ケーブルの抜き挿しを行う場合は、サテライトマネージャやアクセスマネージャをパソコンのタスクトレイから終了した後に行うか、パソコンの電源を切ってから行ってください。

●WL11U では装置ごとにハードウェアウィザードが起動します。

WL11U は、装置ごとに固有のシリアル番号を保持しているため、Windows® はそれぞれを別個のデバイスとして検出します。

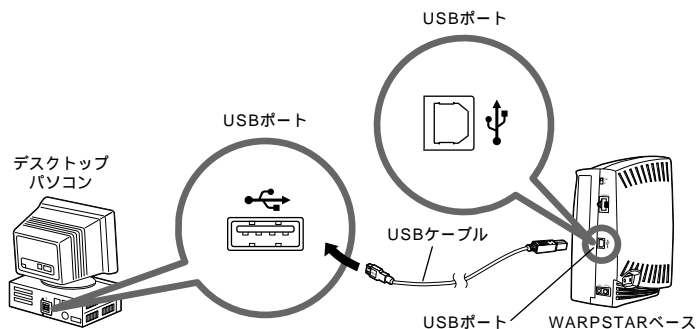
例えば、2 台以上の WL11U をお持ちの場合、1 台目の WL11U を使って正しくデバイスドライバをインストールしたパソコンに別の 2 台目の WL11U を接続すると、新たに Windows® のハードウェアウィザードが起動し、別のデバイスドライバのインストールをはじめます。ハードウェアウィザード画面の指示に従ってインストール操作を進めることで 2 台目の WL11U もネットワークデバイスとしてインストールすることもできます。ただし、ネットワークデバイスのプロパティ情報（TCP/IP プロトコルの設定等）を変更しているお客様は、プロパティ情報を再設定する必要がありますのでご注意ください。

複数の WL11U をお持ちの場合は、パソコンごとに使用する WL11U を決めてお使いいただくことをお勧めします。

※正常に動作しない場合の対策

1 台のパソコンに多数の WL11U を組み込んだり、2 台目以降の WL11U インストール時にハードウェアウィザードの操作を誤ると、正常に動作しない場合があります。

その場合は、らくらくアシスタントの「ドライバのアンインストール」を起動して、いったん WL11U ドライバをアンインストールしてから、もう一度らくらくアシスタントの「WARPSTAR 導入ウィザード」を起動して WL11U のインストールを行ってください。（アンインストーラでは、複数の WL11U の設定を全て削除します）

■WARPSTAR ベースの USB ポートを使用する

お使いのパソコンに USB ポートがある場合は、WARPSTAR ベースの USB ポートに、添付品の USB ケーブルで接続することができます。以下の手順で設定を行ってください。

WARPSTAR ベースに接続する場合

「WARPSTAR ベースの USB ポートにパソコンを接続する」（☛P2-46）

⬇

「インターネットの接続設定をする」（☛P2-51）

お願い

●USB 接続でご使用いただく場合、ご使用になるパソコンによっては、スタンバイやサスペンド機能が使用できない場合があります。
あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。

●Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと WARPSTAR サテライトのドライバが正しくインストールできない場合があります。LAN カード機能を停止させてから、WARPSTAR 導入ウィザードの設定を行ってください。（☛P2-44）

WARPSTARサテライト（WL11U）／（WL11C）にパソコンを接続する

WARPSTARサテライト（WL11U）／（WL11C）にパソコンを接続するときは、①ドライバのインストール→②パソコンの接続→③LANの設定の順で設定を行っていきます。これらは、すべてらくらくアシスタントの［WARPSTAR導入ウィザード］で行います。まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタントをインストールしてください。

お願い

- Ethernetインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカード機能を停止させないとWARPSTARサテライトのドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカード機能を停止させてから、WARPSTAR導入ウィザードの設定を行ってください。（☞P2-44）
- WARPSTARサテライトを増設するときは、それぞれにP2-35～P2-45の設定を行ってください。
- ユーティリティの指示があるまでWL11U、WL11Cをパソコンに接続しないでください。
- WB20RでWARPSTARサテライトによるワイヤレスLAN機能をご利用になるには、別売のWL11Cを拡張カードスロットに取りつけ、別途WARPSTARサテライトをご購入いただく必要があります。

■らくらくアシスタントをインストールする

1　Windows® Me/Windows® 98/Windows® 2000を起動する

2　添付のCD-ROM「Aterm WARPSTARユーティリティ集（ブロードバンド対応）」をCD-ROMドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。

メニューが表示されないときは（☞P2-37）

ユーティリティのメニュー画面が表示されます。

3　［WARPSTARらくらくアシスタントのインストール］をクリックする

4　［次へ］をクリックする

（次ページに続く）

2　インターネットをしましょう

5 ［次へ］をクリックする

6 画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする

7 セットアップ方法を選択して、［次へ］をクリックする

［標準］を選択すると、インターネットや LAN への接続に必要なユーティリティがインストールされます。

［完全］を選択すると、［標準］に加えて LAN 機能の詳細を設定するユーティリティであるベースマネージャもインストールされます。

8 表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

9 ［はい］をクリックする

インストールが開始します。

10 ［README の表示］にチェックが入っていることを確認し、［完了］をクリックする

11 README をよく読んで、［README］画面を閉じる

インストールが完了し、WARPSTAR 導入ウィザードが起動します。

12 続けて WARPSTAR 導入ウィザードで LAN の設定を行う

らくらくアシスタントを起動するには

らくらくアシスタントを終了させた後に、再度らくらくアシスタントを起動するときは、［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］―［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］―［Aterm WARPSTAR らくらくアシスタント］をクリックします。

お知らせ

●添付の CD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

①Windows® の［スタート］ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する

②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と \ Menu.exe と入力し、［OK］をクリックする（例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q:\ Menu.exe）

●WARPSTAR らくらくアシスタントをインストールすると、インターネット接続や WARPSTAR の設定に必要な以下のユーティリティが自動的にインストールされます。

・WARPSTAR らくらくアシスタント
・WARPSTAR アクセスマネージャ
・WARPSTAR サテライトマネージャ（サテライトをインストールした場合のみ）
・WARPSTAR ベースマネージャ（セットアップの方法で［完全］を選択してインストールした場合のみ）

※ WARPSTAR ベースマネージャは、あとからインストールすることもできます。（☞P3-6）

■WARPSTAR導入ウィザードで設定する（サテライト）

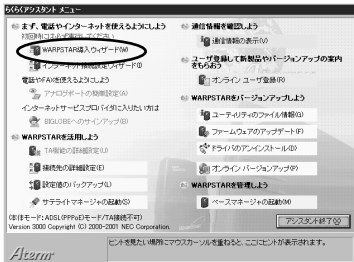
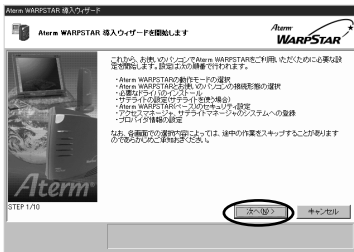
1

WARPSTAR導入ウィザードを起動する

初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外は、らくらくアシスタントを起動しメニュー画面で［WARPSTAR導入ウィザード］ボタンをクリックしてください。

2

［次へ］をクリックする

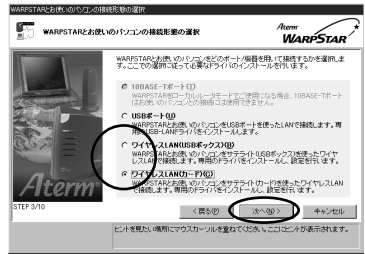
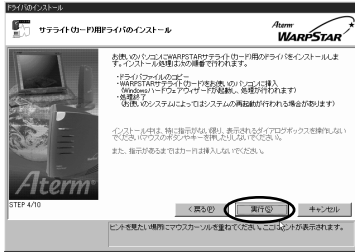
3

WARPSTARの動作モードを選択して、［次へ］をクリックする

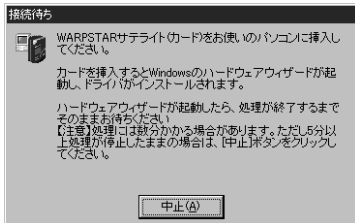
ADSL（PPPoE）接続でADSLモデムと接続する場合は「ADSL（PPPoE）モード」を、ルータタイプのADSLモデムと接続する場合は［ローカルルータモード］を選択します。（☛ ローカルルータモード P2-10）

ここでは、［ADSL（PPPoE）モード］のADSLモデムを接続して利用する場合を説明します。

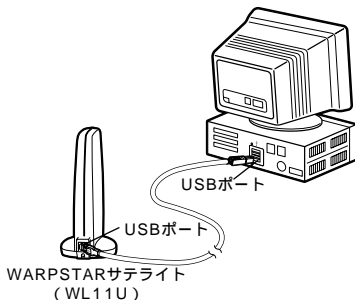
4

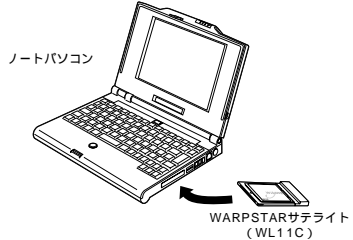
［ワイヤレスLAN（USBボックス)］または［ワイヤレスLAN（カード)］のどちらかをチェックして、［次へ］をクリックする

WL11Uをご利用の場合は［ワイヤレスLAN（USBボックス)］、WL11Cをご利用の場合は［ワイヤレスLAN（カード)］をクリックしてください。

5　［実行］をクリックする

6　次の画面が表示されたら、WARPSTAR サテライトをパソコンに接続（WL11U)、または取り付け（WL11C）する

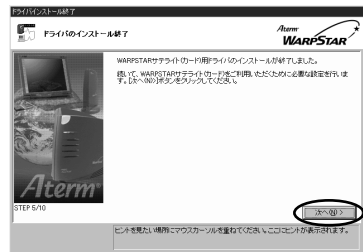
●画面は WL11C の場合です

● WL11U を接続する

WL11U の USB ポートとパソコンの USB ポートを添付の USB ケーブルで接続する

コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。

● WL11C を取り付ける

パソコンのカードスロットに WL11C を取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

ドライバが自動的にインストールされます。

ドライバをアンインストールしたいときは(☛P2-43) を参照してください。

7　［次へ］をクリックする

8　WARPSTAR ベースの電源をいったん切ったあと、再び電源を入れる

しばらくして、（Power ランプ、Ready ランプ、Data ランプが交互に点灯したあと）Power ランプが緑色に点灯します。

（次ページに続く）

9 WARPSTARベースの電源を入れたあと［実行］をクリックする

WARPSTARベースを検索します。（ネットワークの参照といいます。）

10 接続するWARPSTARベースのネットワーク名を選択して［OK］をクリックする

お知らせ

●工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-××××××」（××××××はWARPSTARベースの背面に記載されている10BASE-TのMACアドレス下6桁です。）

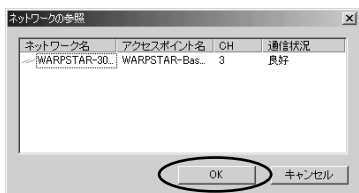
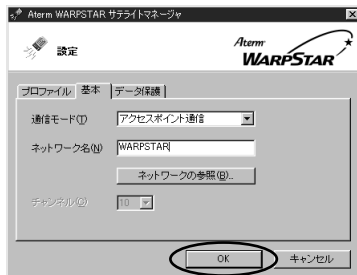
お願い

●WARPSTARベースの電源を入れたあと、30分以内に左記手順9を行ってください。
「ネットワークが見つかりません。」と表示された場合は［OK］をクリックして［ネットワーク名］の欄に直接ネットワーク名を入力してください。

11 ［OK］をクリックする

［通信モード］は［アクセスポイント通信］の設定のままにしてください。
サテライトマネージャの設定が終了します。

12 ［次へ］をクリックする

お願い

●「WARPSTARに接続できませんでした。」と表示された場合は、P2-43「こんなときは」を参照してください。

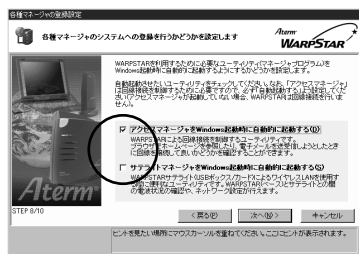
13 LANの設定を入力する

①［管理者用パスワード］にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の英数字半角20文字まで入力できます。
②［装置名］には、WARPSTARベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

※WARPSTARベースに「管理者用パスワード」が登録済みの場合は、この画面はスキップされます。

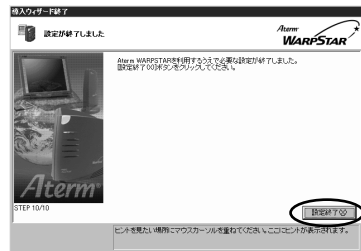
14 ［次へ］をクリックする

15 パソコンを起動したときに自動起動するユーティリティを設定する

［アクセスマネージャをWindows起動時に自動的に起動する］がチェックされていることを確認します。
サテライトマネージャを自動的に起動するときは、［サテライトマネージャをWindows起動時に自動的に起動する］をチェックします。

16 ［次へ］をクリックする

17 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

設定内容をWARPSTARベースに登録します。

※パスワード入力画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して［OK］をクリックします。

18 ［設定終了］をクリックする

設定の登録が終了し、らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。初めてらくらくアシスタントをインストールしたときは、［接続設定］をクリックすると、自動的にインターネット接続ウィザードが起動します。
P2-51の手順3に進みます。

（次ページに続く）

19 続けてインターネット接続の設定を行う

らくらくアシスタントからWARPSTAR導入ウィザードを起動した場合は、P2-51に進みます。

お知らせ

●初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外でWARPSTAR導入ウィザードを起動するときは、らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面で［WARPSTAR導入ウィザード］ボタンをクリックしてください。
●管理者用パスワードは、WARPSTARベースをベースマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチでWARPSTARベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。（☛P5-5）

●WL11Cの取り扱いについて

〈取り付けるとき〉

・WL11Cのコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

〈取り外すとき〉

・WL11Cを取り外すときは、以下の操作でPCカードを取り外せる状態にしてから取り外してください。
①タスクトレイのPCカードアイコンを左クリックする
②［Aterm WL11C（PC-WL/11C）の停止］をクリックする（Windows® 98の場合は［Aterm WL11C（PC-WL/11C）の中止］をクリックする）
③「' Aterm WL11C（PC-WL/11C）' は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、［OK］をクリックする
④WL11Cを取り外す

お願い

●WL11Cの取り付け位置はパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書を参照し、各メーカーの定める手順にしたがって取り付けてください。
●らくらくアシスタントが起動しないなどの理由で、手動でWARPSTARをセットアップする場合は、添付のCD-ROMに収録されている「データ通信詳細ガイド」「4　ドライバの手動インストール」を参照してください。

こんなときは

次の画面が表示された場合は、①〜⑥を確認して［再試行］をクリックしてください。パソコンのタスクトレイに「アクセスマネージャ」のアイコンが表示されている場合は、①〜⑥の操作の前に、「アクセスマネージャ」のアイコンを右クリックし、［終了］をクリックして「アクセスマネージャ」を終了させてから行ってください。

〈Windows® Me/98 の場合〉

① ［スタート］–［ファイル名を指定して実行（R）］をクリックする
②“ winipcfg ”を入力して［OK］をクリックする
③ Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウの ▼ をクリックして“ WL11U（PC-WL/11U）”を選択する
④ ［すべて書き換え（W)］をクリックする
⑤ IP アドレスが“ 192.168.0.××× ”になることを確認する
⑥ ［OK］をクリックする

※手順③は WARPSTAR サテライト（WL11U）の場合です。
WARPSTAR サテライト（WL11C）のときは“ WL11C（PC-WL/11C）”を選択してください。

WARPSTAR サテライトのドライバをアンインストールするには

① らくらくアシスタントを起動する
② ［ドライバのアンインストール］をクリックする
③ 画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する
④ アンインストールするドライバを選択する
⑤ 画面の指示に従ってアンインストールを行う

LAN カード機能を停止させるには

Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと USB-LAN や WARPSTAR サテライトが使用できない場合があります。以下の操作で LAN カード機能を停止させてから、WARPSTAR 導入ウィザードの設定を行ってください。

〈Windows ® Me/98 の場合〉

① ［スタート］ボタン―［設定］―［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［デバイスマネージャ］タブをクリックする
④ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑤ 不要なネットワークアダプタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックする

⑥ ［全般］タブの［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］をチェックして［OK］をクリックする

〈Windows ® 2000 の場合〉

① ［スタート］ボタン―［設定］―［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［ハードウェア］タブをクリックする
④ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑤ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックする

⑦ ［無効］を選択する
⑧ ［はい］をクリックする

■WARPSTARベースとの通信状態を確認する（サテライトマネージャ）

サテライトマネージャを起動すると、WARPSTARベースとWARPSTARサテライトの通信状態を確認することができます。

1 **タスクトレイのサテライトマネージャのアイコンを右クリックする**

2 **［状態］をクリックする**

WARPSTARベースとWARPSTARサテライトの通信状態が表示されます。

3 **通信状態を確認したら、［閉じる］をクリックする**

お知らせ

●WARPSTARは、無線データ通信を行ううえで必要なセキュリティ機能としてWEPとMACアドレスセキュリティを搭載しています。各設定方法の詳細については、「4-1 LANのデータ通信機能」を参照してください。（☛P4-2）

・**WEPとは**

WEP（Wired Equivalent Privacy）は、ユーザが指定した任意の文字列（キー）からデータの暗号化を行う機能です。これにより、WARPSTARベースとサテライトとの間で送受信される無線通信データを暗号化して保護することができます。

・**MACアドレスセキュリティ機能とは**

お使いのWARPSTARが登録されたサテライトとのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、登録されていない他のサテライトからLANやインターネットへ接続するのを防ぐことができます。

WARPSTAR ベースの USB ポートにパソコンを接続する

WARPSTAR ベースの USB ポートにパソコンを接続するときは、①ドライバのインストール→②パソコンの接続→③ LAN の設定の順で設定を行っていきます。これらは、［WARPSTAR 導入ウィザード］で行います。まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタントをインストールして、WARPSTAR 導入ウィザードを起動してください。

お願い

● Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと USB-LAN ドライバが正しくインストールされない場合があります。LAN カード機能を停止させてから、WARPSTAR 導入ウィザードの設定を行ってください。(☛P2-44)
● USB ケーブルは、ユーティリティの指示があるまで接続しないでください。

■らくらくアシスタントをインストールする

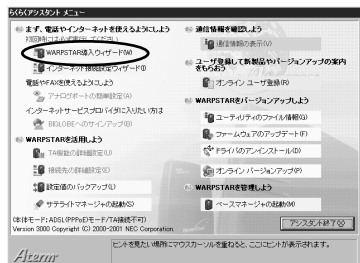
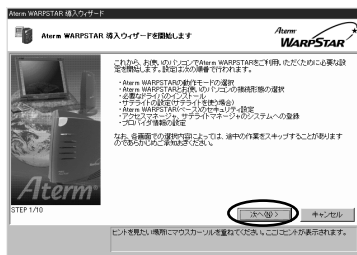
らくらくアシスタントのインストール方法は、「2-2　WARPSTAR サテライト（WL11U）／（WL11C）にパソコンを接続する」を参照してください。（☛P2-35 ～ P2-37）
らくらくアシスタントをインストールし、WARPSTAR 導入ウィザードが起動したら、下記の「WARPSTAR 導入ウィザードで設定する（USB ポート）」を行ってください。

■WARPSTAR 導入ウィザードで設定する（USB ポート）

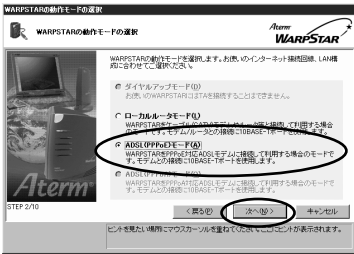
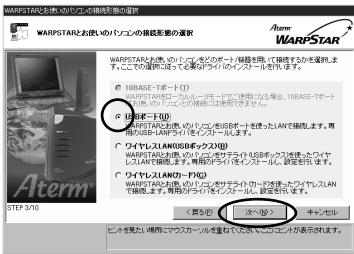
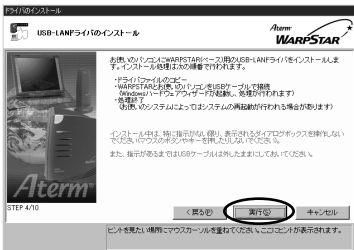
1　WARPSTAR 導入ウィザードを起動する

初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外は、らくらくアシスタントを起動しメニュー画面で［WARPSTAR 導入ウィザード］ボタンをクリックしてください。

2　［次へ］をクリックする

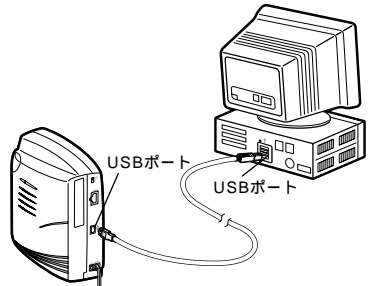
（次ページに続く）

3 WARPSTAR の動作モードを選択して、[次へ] をクリックする

ADSL（PPPoE）接続でモデムと接続する場合は「ADSL（PPPoE）モード」を、ルータタイプの ADSL モデムと接続する場合は［ローカルルータモード］を選択します。（☛ ローカルルータモード P2-10）

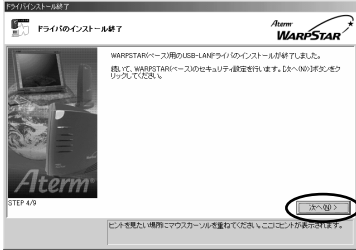
ここでは、[ADSL（PPPoE）モード] の ADSL モデムを接続して利用する場合を説明します。

4 [USB ポート] をクリックし、[次へ] をクリックする

5 次の画面が表示されたら、[実行] をクリックする

6 WARPSTAR ベースの電源が入っていることを確認する

7 次の画面が表示されたら、パソコンを添付の USB ケーブルで WARPSTAR ベースの USB ポートに接続する

コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。

ドライバが自動的にインストールされます。

2 インターネットをしましょう

8 ［次へ］をクリックする

9 LANの設定を入力する

①［管理者用パスワード］にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。

②［装置名］には、WARPSTARベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

お願い

●管理者用パスワードは、あとで必要になります。忘れないようお願いします。

※WARPSTARベースに「管理者用パスワード」が登録済みの場合は、この画面はスキップされます。

10 ［次へ］をクリックする

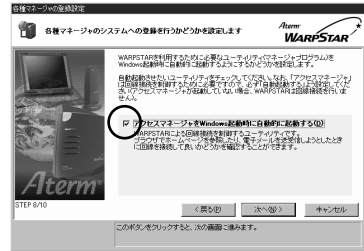
11 パソコンを起動したときにアクセスマネージャが自動起動するかどうかを設定する

［アクセスマネージャをWindows起動時に自動的に起動する］がチェックされていることを確認します。

12 ［次へ］をクリックする

13 設定内容を確認し［実行］をクリックする

設定内容をWARPSTARベースに登録します。

（次ページに続く）

14 ［設定終了］をクリックする

設定の登録が終了し、らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。
初めてらくらくアシスタントをインストールしたときは、［接続設定］をクリックすると、自動的にインターネット接続ウィザードが起動します。
P2-51 の手順 3 に進みます。

15 続けてインターネット接続の設定を行う

らくらくアシスタントから WARPSTAR 導入ウィザードを起動した場合は、P2-51 に進みます。

お知らせ

●管理者用パスワードは、WARPSTAR ベースをベースマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード________________________

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチで WARPSTAR ベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。
（☛P5-5）

WARPSTAR ベースのドライバをアンインストールするには

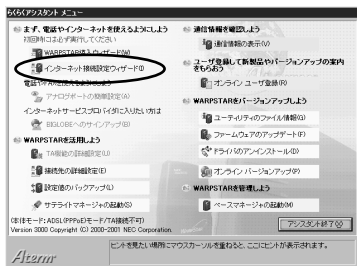
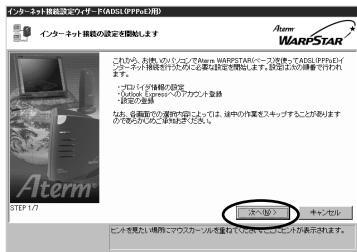
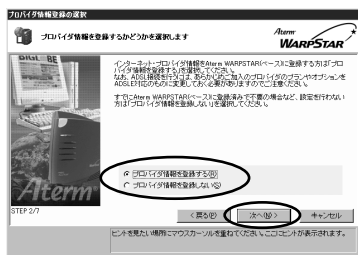
① らくらくアシスタントを起動する
② ［ドライバのアンインストール］をクリックする
③ 画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する
④ アンインストールするドライバを選択する
⑤ 画面の指示に従ってアンインストールを行う

インターネットの接続設定をする

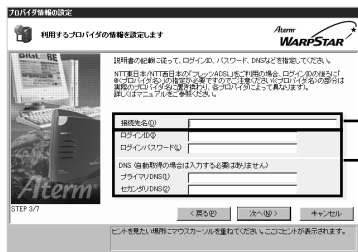
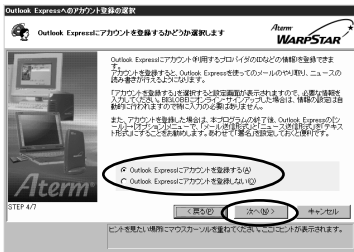
インターネットへの接続の設定は、らくらくアシスタントの案内で簡単に行うことができます。

■インターネット接続を設定する

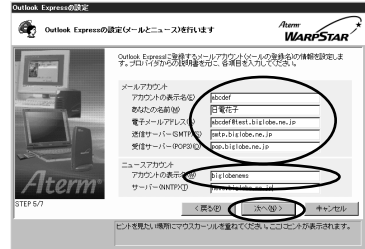
1 ［インターネット接続設定ウィザード］を起動する

初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外は、らくらくアシスタントを起動し（☛P3-3）［インターネット接続設定ウィザード］をクリックしてください。

2 ［次へ］をクリックする

3 プロバイダ情報を WARPSTAR に登録する場合は［プロバイダ情報を登録する］を選択し、［次へ］をクリックする

プロバイダを登録しない場合は、［プロバイダ情報を登録しない］を選択し、手順 7 へ進みます。

4 プロバイダに接続するための情報を入力して、「次へ」をクリックする

①［接続先名］にプロバイダの名称を任意に入力します。
②接続事業者からの情報にしたがって「ログイン ID」（ユーザ ID）を入力します。
　プロバイダからの情報にしたがって「パスワード」を入力します。
　［プライマリ DNS］、［セカンダリ DNS］を半角英数字で入力します。

5 Outlook Expressを使用する場合は、[Outlook Expressにアカウントを登録する]をクリックし、[次へ]をクリックする

Outlook Expressの設定をここでしない場合は、[Outlook Expressにアカウントを登録しない]をクリックし、手順7に進みます。

●Outlook Expressについては、Outlook Expressの取扱説明書を参照してください。

6 メールアカウントとニュースアカウントの情報を入力し、[次へ]をクリックする

7 設定内容を確認し、[実行]をクリックする

WARPSTARベースの設定が自動的に行われ、WARPSTARベースが再起動されます。

8 [設定終了]をクリックする

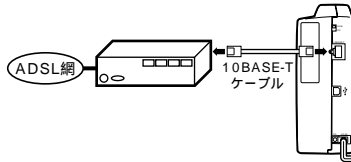
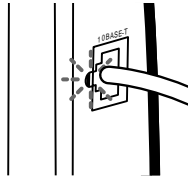
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

9 らくらくアシスタントを終了するときは、[らくらくアシスタント終了]をクリックする。

■ADSL モデムに接続する

①ADSL モデムが、ADSL 網に正しく接続されていることを確認する。

②WARPSTAR ベースの電源が入っていることを確認する。

③WARPSTAR ベースの 10BASE-T ポートとケーブルモデムを添付の 10BASE-T ケーブル（ストレート）で接続する。

④10BASE-T ポート状態表示 LED が点灯していることを確認します。
（点灯しない場合は次ページを参照してください。）

? *10BASE-T ポート状態表示 LED が点灯しないときは*

10BASE-T ポート状態表示 LED が点灯しないときは、WARPSTAR ベースと ADSL モデムが正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

①10BASE-T ケーブルの接続を確認する
いったん電源を切り、WARPSTAR ベースの 10BASE-T ポートが ADSL モデムに 10BASE-T ケーブル（ストレート）で正しく接続されているか確認してください。

②カスケード切り替えスイッチを切り替える
電源を切り、WARPSTAR ベースのカスケード切り替えスイッチを切り替えます。再度電源を入れてください。
これで問題が解決しない場合は、カスケード切り替えスイッチを戻しておきます。

③ADSL モデムが回線と正しく接続されていることを確認する
10BASE-T ポートを搭載したパソコンをお持ちの場合は、ADSL モデムに直接パソコンを接続して正しく動作することを確認してください。直接パソコンを接続しても正しく動作しない場合は、ADSL モデムおよび通話回線に問題があります。ご契約の通信事業者にご相談ください。

④①〜③を行っても解決しない場合は、WARPSTAR ベースを初期化する
WARPSTAR ベースの設定を購入時の状態に戻します。初期化する方法については、「5-2 WARPSTAR を初期化する」（☛P5-4）を参照してください。

⑤WARPSTAR ベースの自己診断を行う
「5-3 自己診断」（☛P5-6）を参照して、WARPSTAR ベースの自己診断を行ってください。

①〜⑤を行っても問題が解決しないときは、WARPSTAR ベースが故障している場合があります。最寄りの NEC 保守サービス受付拠点（☛P6-11）へお問い合わせください。

インターネットに接続する

■アクセスマネージャで接続状態を確認する

インターネットへの接続／切断の操作や回線状態の表示はタスクトレイの「アクセスマネージャ」で行います。

●タスクトレイの「アクセスマネージャ」のアイコン表示

WARPSTARベースとの通信が可能でインターネット接続されていない状態

ADSL（PPPoE）でインターネットと接続中

WARPSTARベースとの通信ができない状態

●アクセスマネージャの使い方
①タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする。
②ポップアップメニューから、行いたい操作を選択する
・状態（接続状態を確認できます）
・ADSL（PPPoE）接続（手動でADSL（PPPoE）インターネットへの接続を行います）
・切断（手動で切断を行います）
・オプションの設定（オプションの設定画面を表示します）（☛P4-34）
・ADSL接続先の設定（接続先の設定画面を表示します）
・ログの表示（WARPSTARのログを表示します）（☛P4-12）
・らくらくアシスタント（らくらくアシスタントを起動します）
・Windows ®起動時に自動起動する（アクセスマネージャをWindows ®起動時に自動起動するよう登録または解除します）
・ヘルプ（ヘルプを起動します）
・終了（アクセスマネージャを終了します）

■ADSLでインターネットに接続する

1 **タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする**

2 **メニューから［ADSL（PPPoE）接続］をクリックする**

3 **［接続］をクリックする**

インターネット接続が開始されます。

（次ページに続く）

4 WWW ブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを起動する

接続中は、インターネットアプリケーションを利用することができます。Aterm には、インターネットアプリケーションは添付していません。Windows® に付属のものをご利用になるか、別途ご用意ください。

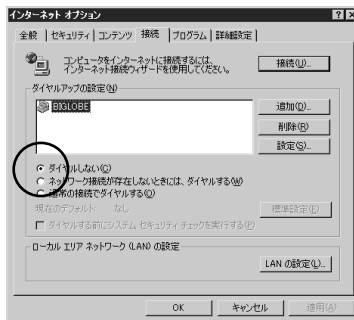
5 終了するときは、タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする

6 ［切断］をクリックする

お知らせ

● Windows® Me ／ 98 ／ 2000 でご利用の場合には、WWW ブラウザ（Internet Explorer 等）やメールソフトの設定が LAN 接続の設定になっている必要があります。
ブラウザやメールソフトを起動したときに、アクセスマネージャの「プロバイダへの接続」が起動せずにダイヤルアップ接続が起動してしまう場合には、ダイヤルアップ接続する設定になっていますので設定を変更してください。
設定の変更方法についての詳細は各ソフトウェアの製造メーカー（Microsoft 等）にご確認ください。

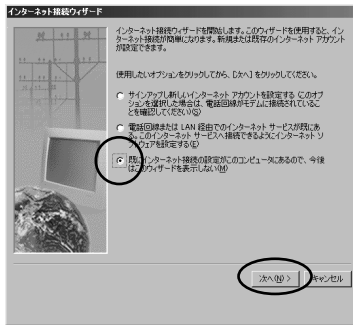
以下は InternetExplorer5 の場合の設定方法の一例です。
お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェア等）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

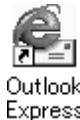
①InternetExplorer のアイコンをダブルクリックして、InternetExplorer を起動します。
②「ツール」の「インターネットオプション」を選択します。
③「接続」タブをクリックします。
④ダイヤルアップの設定の欄で、「ダイヤルしない」を接続してください。

また、プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）はダイヤルアップ接続（モデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。
その場合 WARPSTAR に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。
プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

お知らせ

●Windows® 98 をご使用の場合でデスクトップに WWW ブラウザソフト（Internet Explorer）アイコンがないときは、以下の手順で［Internet Explorer］アイコンを作成します。

①デスクトップの「インターネットに接続」アイコンをダブルクリックします。
「インターネット接続ウィザード」画面になります。

②「既にインターネット接続の設定が・・・表示しない」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

③［インターネット接続ウィザード］を終了します。
デスクトップに［Internet Explorer］と［Outlook Express］のアイコンが表示されます。

Internet
Explorer

Outlook
Express

お願い

●タスクトレイのアクセスマネージャのアイコンが下記の状態の間は、接続したままの状態が続いています。（WWW ブラウザなどのアプリケーションを終了しても自動的に切断されません。）セキュリティの向上のためインターネットを使用していないときは、アイコンを右クリックして［切断］をクリックして忘れずに切断してください。

13:49

●接続先のプロバイダやサーバ、接続時間帯、データ転送の特徴などにより、接続回線速度のパフォーマンスが十分得られないことがあります。
● USB ポートにパソコンを接続して通信アプリケーションを実行中に、USB ケーブルを抜いたり電源を切ったりすると、通信アプリケーションと USB ドライバとの結合をシステムが解放します。引き続き通信アプリケーションをご利用になる場合は、通信アプリケーションをいったん終了して、正しく接続しなおしてから再度実行してください。

3 各種ユーティリティを使いこなしましょう

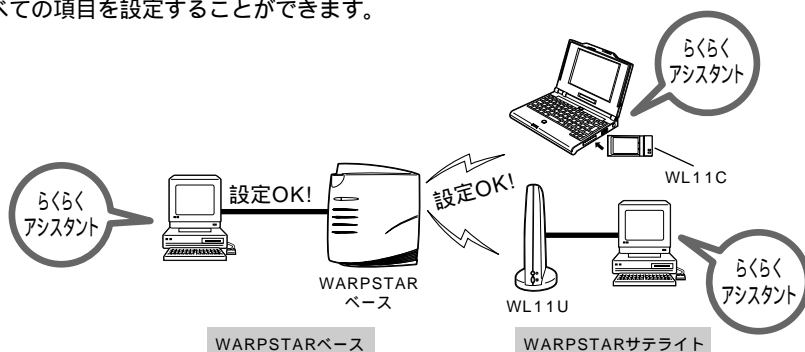
3

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

3-1 らくらくアシスタントの基本操作

らくらくアシスタントは、前章までのパソコンを接続するときに必要なドライバのインストールや WARPSTAR の基本設定の他に接続先や LAN の詳細設定やバージョンアップなどができます。らくらくアシスタントを使いこなせば、WARPSTAR をもっと活用できます。

らくらくアシスタントの使いかた

ここでは、らくらくアシスタントの起動・終了のしかた、基本的な使いかたを説明します。らくらくアシスタントは、WARPSTAR ベースに接続されているパソコンからも、WARPSTAR サテライトに接続されているパソコンからも、同じようにご利用になれ、すべての項目を設定することができます。

お願い

●らくらくアシスタントをインストールしていない場合は、以下のページを参照して、インストールを行ってください。
　「らくらくアシスタントをインストールする」（☛P2-7、2-35）

●複数のパソコンかららくらくアシスタントの設定を行った場合、最後に保存した設定が有効になります。

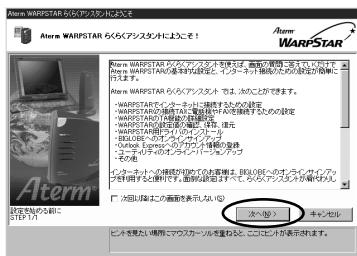
●らくらくアシスタントのメニュー画面で何かボタンを押したとき、次の画面が表示された場合は、①～④を確認した後［再試行］をクリックしてください。

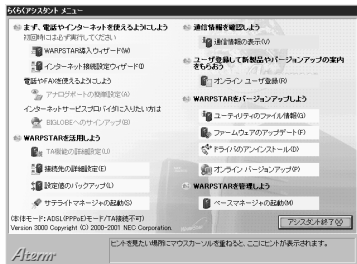
①パソコンと WARPSTAR サテライト（WL11U）／（WL11C）または WARPSTAR ベースは正しく接続されていますか？
② WARPSTAR ベースの電源は入っていますか？
③らくらくバージョンアップなど。WARPSTAR のソフトウェアが起動している場合は終了させる
④ IP アドレスを更新してください「こんなときは」（☛P2-15、2-43）

●WARPSTAR ベースを無線 HUB モードに設定すると、らくらくアシスタントやベースマネージャによる各種設定ができなくなります。設定変更する場合は、ネットワーク（10BASE-T ポート）からはずして（☛P4-26）を参照して、ディップスイッチの 3 を［OFF］にして、無線 HUB モードを解除してからベースマネージャで設定を変更してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［AtermWARPSTAR らくらくアシスタント］をクリックする

しばらくするとらくらくアシスタントが起動します。

2 下記の画面が表示されたときは［次へ］をクリックする

らくらくアシスタントメニュー画面が表示されます。

3 メニュー画面から設定したい項目のボタンをクリックする

4 必要な項目を選択・入力する

各項目を設定します。

5 設定が終了したら［OK］をクリックする

設定内容がWARPSTARに書き込まれ、らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

6 らくらくアシスタントを終了するときは、［アシスタント終了］をクリックする

7 ［はい］をクリックする

お願い

- らくらくアシスタントのメニュー画面でいずれかのボタンをクリックしたときに［Aterm WARPSTARが見つかりません］と表示される場合は、以下の①～③を確認したあと、［再試行］をクリックしてください。
  ①WARPSTARとパソコンが正しく接続されている
  ②WARPSTARベースの電源が入っている
  ③らくらくバージョンアップなどWARPSTARのソフトウェアが起動している場合は終了させる

3-2 らくらくアシスタントで設定できること

メインメニュー画面

らくらくアシスタントを起動すると、メニュー画面が表示されます。まず最初にこの画面で、設定したい機能のボタンをクリックします。
画面上のボタンの上にマウスカーソルを重ねると、画面右下に説明が表示されます。

まず、電話やインターネットを使えるようにしよう
- ［WARPSTAR導入ウィザード］（☛P2-10、2-18、2-38、2-46）
- ［インターネット接続設定ウィザード］（☛P2-23、2-51）

ユーザ登録して新製品やバージョンアップの案内をもらおう
- ［オンラインユーザ登録］（☛P6-8）

通信情報を確認しよう
- ［通信情報の表示］

WARPSTARを活用しよう

［接続先の詳細設定］（☛P3-5）
［設定値のバックアップ］（☛ 添付CD-ROM「データ通信詳細ガイド」「2　設定のバックアップ」）
［サテライトマネージャの起動］（☛P3-12）

Atermのボタン
- ［AtermStationへの接続］（☛P6-8）

WARPSTARをバージョンアップしよう
- ファームウェアのバージョンアップ（☛ 添付CD-ROM「データ通信詳細ガイド」「3　WARPSTARをバージョンアップする」
- ドライバのアンインストール（☛P2-15、2-22、2-43、2-50）

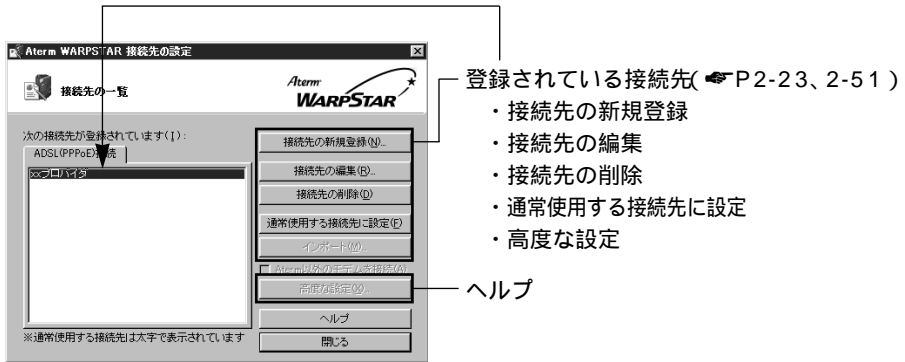
ベースマネージャの起動

ベースマネージャを起動します。らくらくアシスタントのインストールのとき［完全］を選択したときには同時にベースマネージャがインストールされ、表示されます。あとからベースマネージャをインストールすることもできます。

お知らせ

●らくらくアシスタントはWARPSTARシリーズ共通です。お使いの機種によってはボタンが無効になる場合があります。WL20R、WB20Rの場合では、電話やFAXの機能、TA機能の詳細設定、オンラインサインアップが無効になります。

接続先の設定画面

ADSL（PPPoE）接続の場合、らくらくアシスタントのメニュー画面で［接続先の詳細設定］ボタンをクリックすると表示されます。接続先を新規に作成したり、修正することができます。

3-3 ベースマネージャで設定する

ベースマネージャはWARPSTARベースの動作モードの変更、パスワードの変更、LANの設定、無線LANの設定などをすることができます。ネットワークのセキュリティ保護のためにも無線LANの設定を行うことをお勧めします。ベースマネージャはらくらくアシスタントのインストールをするときに、［完全］を選択することにより使用できます。

お知らせ

- WARPSTARらくらくアシスタントのインストールの際に［完全］を選んでインストールした場合はベースマネージャは既にインストールされています。
- 画面はWindows® Meの例です。

■ベースマネージャのインストール

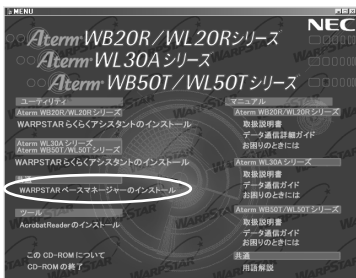
1 パソコンを起動する

アクセスマネージャが起動しているときは終了させてください。

2 添付のCD-ROM「Aterm WARPSTARユーティリティ集（ブロードバンド対応）」をCD-ROMドライブにセットする

ユーティリティや電子マニュアルのメニューが表示されます。

メニュー画面が表示できないときは（☛P2-9、2-37）

3 ［WARPSTARベースマネージャのインストール］をクリックする

4 画面の表示にしたがってインストールを行う

5 ［インストールが完了しました］の画面が表示されたら［完了］をクリックする

6 READMEを閉じる

7 パスワード入力画面のWARPSTAR導入ウィザードで設定した管理者用のパスワードを入力する
（☛P2-13、2-41）

■ベースマネージャを起動するには■

●次のどちらかの方法で起動します。

①らくらくアシスタントのメニュー画面から、［ベースマネージャの起動］をクリックし、管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする。

②［スタート］－［プログラム］－［AtermWARPSTAR ユーティリティ］－［AtermWARPSTAR ベースマネージャ］をクリックしたあと、管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする。

ベースマネージャの設定の詳細については、ベースマネージャのヘルプを参照してください。

■ AtermWARPSTAR ベースマネージャ画面■

ベースマネージャを起動すると、この設定画面が表示されます。設定したい機能のボタンなどをクリックします。画面上のボタンの上にマウスのカーソルを重ねると、画面右下に説明が表示されます。

WARPSTAR ベースとして使うときの基本設定です。
- 装置名、動作モードの設定
- 管理者パスワードの変更、時刻の設定
- システムログの設定
- 設定値の初期化、バックアップ

LAN を設定します。
- IP アドレス/ネットマスク/DNS 設定
- NAT/パケットフィルタなど高度な設定
- DHCP サーバとしての設定

WAN 側の設定をします。
- DHCP クライアントの設定
- IP アドレス/ネットマスク/DNS の設定
- ドメイン名/ホストの設定
- NAT 機能やパケットフィルタなどの高度な設定

無線 LAN を設定します。
- ネットワーク名/無線チャンネル設定
- WARPSTAR サテライトの接続制限などセキュリティの設定
- 暗号化の設定

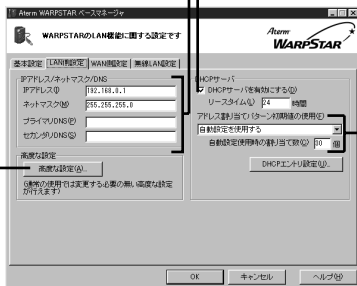
3　各種ユーティリティを使いこなしましょう

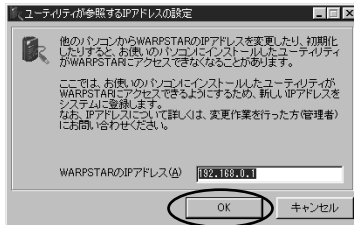
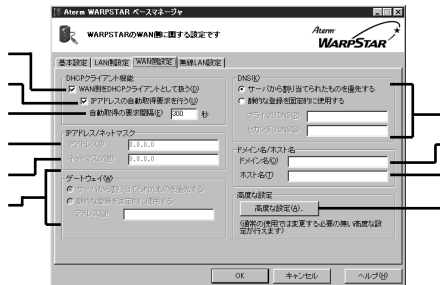
■基本設定をする

お願い

● WARPSTAR ベースの設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず、らくらくアシスタントのメニューから、WARPSTAR 導入ウィザードを実行してください。

■ LAN 側設定

WARPSTAR の LAN 関係の設定を行います。
通常の使用では出荷時状態でご使用になれます。

お願い

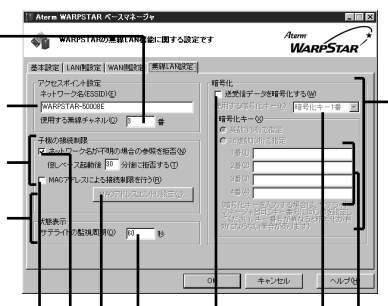
- IP アドレスを変更した場合は、パソコンにインストールしたユーティリティが参照する IP アドレスを変更する必要があります。
- ベースマネージャで 1 台目の WARPSTAR ベースの［LAN 設定］タブの［IP アドレス］を出荷時設定（“ 192.168.0.1 ”）から変更している場合は、他のパソコンでインストール時に「WARPSTAR ベース（親機）が見つかりません」というエラーが出る場合があります。このような場合は、下記の手順で「ユーティリティが参照する IP アドレス」を変更してから、再度実行してください。
  ①［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする。
  ②らくらくアシスタントをインストールしたフォルダの “ AddrReg.exe ” を指定し、［OK］をクリックする。
  （通常は “ C:\Program Files\NEC\AtermWL\AddrReg.exe ”）
  ③［WARPSTAR の IP アドレス］を WARPSTAR ベースに設定したアドレスに書き換え、［OK］をクリックする。

■ WAN 側設定■

①チェックすると、WARPSTAR ベースの WAN 側が DHCP クライアントとして動作するようになります。通常、接続網のサーバから IP アドレスなどが自動取得されます。
②WARPSTAR ベースの WAN 側を DHCP クライアントとする場合に、接続網のサーバに対して IP アドレスを定期的に自動取得するよう要求するかどうかを設定します。通常はチェックしてください。

（次ページに続く）

③WARPSTARベースのWAN側をDHCPクライアントとして、接続網のサーバに対してIPアドレスの自動取得要求を行う場合に、自動取得要求を行う間隔を1～3600秒の範囲で設定します。また、0を指定すると自動取得要求を行わなくなります。
④WARPSTARベースのWAN側のIPアドレスを設定します。WAN側をDHCPクライアントとして使用する場合は、特に指定する必要はありません。
⑤WARPSTARベースのWAN側のネットマスクを設定します。WAN側をDHCPクライアントとして使用する場合は、特に指定する必要はありません。
⑥WARPSTARベースのWAN側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定が必要ない場合は空欄のままにしておいてください。
⑦WARPSTARベースのWAN側のDNSサーバを設定します。接続網のサーバから自動取得する場合は空欄のままでかまいません。また、サーバから自動取得された値は、入力された値よりも優先して使用されます。
⑧WARPSTARベースのWAN側のドメイン名を設定します。指定の必要がない場合は空欄のままでかまいません。また、サーバから自動取得された値は、入力された値よりも優先して使用されます。
⑨WARPSTARベースのWAN側のホスト名を設定します。指定の必要がない場合は空欄のままでかまいません。また、サーバから自動取得された値は、入力された値よりも優先して使用されます。
⑩［高度な設定］をクリックすると、NAT、パケットフィルタの設定を行う画面が表示されます。

■無線LAN設定■

WARPSTARベースの無線部の設定を行います。WARPSTARサテライトを使用する場合には、外部からの不正アクセスを防ぐため、セキュリティ（ネットワーク名／MACアドレスによる接続制限／暗号化）を設定変更することをお勧めします。
設定の詳細については、ヘルプを参照してください。

電波干渉がある場合に使用する無線チャネル番号を変更してください。

①無線ネットワーク名を入力します。WARPSTARサテライトを登録する時WARPSTARサテライトのネットワーク名設定部分にここと同じネットワーク名を入力してください。

②登録できるサテライトの制限方法を設定します。外部からの無断接続を防ぐため MAC アドレスによる接続制限を行うことをお勧めします。（あわせて⑥を設定してください。）
③MAC アドレスにより接続制限を行うときチェックします。
④ネットワーク名が不明なサテライトからのネットワーク検索に応答しないようにする設定です。
ここのチェックをはずすと、不特定の相手からネットワーク名を検索されて、不正アクセスされる可能性がありますので、ご注意ください。
工場出荷時はチェックされています。
ベースの電源を入れてから約 30 分間はネットワーク名が一致しなくてもサテライトから検索できます。（WARPSTAR ベース本体のバージョンアップ直後および初期化後、ベースマネージャ終了時も 30 分間サテライトから検出可能となります。）検出可能な時間は変更できます。
⑤登録したサテライトの情報や、状態を表示します。
⑥接続するサテライトの MAC アドレスを設定する時にクリックします。
⑦サテライトの状態を取得する間隔を秒単位で指定します。指定できる範囲は 10 ～ 600 秒です。
⑧無線データを暗号化する時に設定します。無線データに対する不正アクセス防止のため暗号化します。
暗号化を行うときは接続されているサテライトに同じ暗号キーを設定してください。
暗号キーが一致しないとサテライトからベースが検出できなくなるのでご注意ください。
⑨暗号化を行うときにチェックします。
⑩使用する暗号化キー番号を下の暗号化キー欄の 1 番～ 4 番から選択してください。選択する番号にはあらかじめ暗号化キーを入力しておいてください。
⑪暗号化キーを入力します。入力する時は英数字 5 桁で入力するか、16 進数 10 桁で入力するか、あらかじめチェックして入力してください。途中で英数字と 16 進数を切り替える場合は［OK］を押して登録してから切り替えてください（入力は半角のみとなります）。

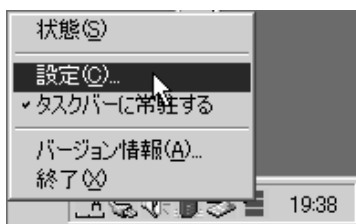
3-4 サテライトマネージャで設定する

サテライトマネージャは、WARPSTAR サテライトの通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線 LAN のデータ保護の設定をすることができます。
ネットワークのセキュリティ保護のためにもデータ保護の設定を行うことをお勧めします。

■サテライトマネージャを起動するには■

次のどちらかの方法で起動します。

①らくらくアシスタントのメニュー画面から、[サテライトマネージャの起動] をクリックする。
②[スタート] − [プログラム] − [AtermWARPSTAR ユーティリティ] − [AtermWARPSTAR サテライトマネージャ] をクリックする。

1 タスクトレイの [サテライトマネージャ] のアイコンを右クリックする

2 [設定] を選択すると、サテライトマネージャの設定画面が表示される

サテライトマネージャの設定データ（プロファイル）の選択ができます。

無線 LAN のセキュリティの設定をします。
・データ保護の有無
・暗号キーの設定

WARPSTAR サテライトの基本設定です。
・通信モードの設定
・接続先ネットワークの設定及び変更チャンネルの設定
（パソコン間通信時設定）

■プロファイル■

プロファイルとは、サテライトマネージャの「設定データ」をさし、サテライトマネージャではこのプロファイル「設定データ」を最大4つまで保存できます。（WL11U設定とWL11C設定はそれぞれ別のプロファイルに保存されます）WARPSTARサテライト（WL11U／WL11C）の通信相手装置（ベースまたはサテライト）が複数ある場合、それぞれの通信相手装置ごとのプロファイルを登録しておけば、通信相手を変えるたびに設定データを書き換えなくてもプロファイルの選択を切り替えるだけで接続先を変更できます。

【使用例】

会社と自宅で、2台のWARPSTARベース（親機）を使用したい場合

①まず、サテライトマネージャの［プロファイル］タブで、1番目のプロファイル（デフォルト）を選択します。
②プロファイル名を、「会社設定」に変更します。
③［基本］タブで、会社のWARPSTARベースのネットワーク名を設定します。
④ここで［OK］ボタンを押し、「会社設定」を保存します。
⑤次に、再度サテライトマネージャの［プロファイル］タブで、2番目のプロファイル（プロファイル2）を選択します。
⑥プロファイル名を、「自宅設定」に変更します。
⑦［基本］タブで、自宅のWARPSTARベースのネットワーク名を設定します。
⑧ここで［OK］ボタンを押し、「自宅設定」を保存します。

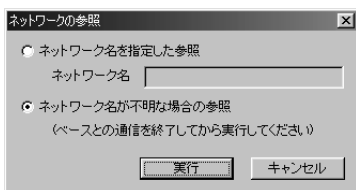
上記のプロファイルを設定をしておけばサテライトマネージャの「プロファイル」タブで、会社では「会社設定」、自宅では「自宅設定」を選択するだけで会社と自宅のWARPSTARベース接続を切り替えて使用することができます。

■基本設定をする■

WARPSTAR サテライトの基本設定をします。

通信モードの設定をします。
・アクセスポイント通信：WARPSTAR ベースと WARPSTAR サテライト間で無線ＬＡＮ接続する場合に使用します。
・パソコン間通信：WARPSTAR サテライト同士での無線ＬＡＮ接続に使用します。

チャンネルの設定をします。このチャンネルは、パソコン間通信を行なう時に使用するチャンネルです。お互いの WARPSTAR サテライトのチャンネルを割り当てることにより、パソコン間通信が可能となります。

接続先のネットワーク名を入力してください。WARPSTAR ベースの出荷時設定は WARPSTAR-****** （******は 10BASE-T の MAC アドレスの下 6 桁です）
ネットワーク名がわからない場合は、［ネットワークの参照］をクリックしてください。

［ネットワーク名が不明な場合の参照］にチェックを入れ［実行］をクリックしてください。

接続先のネットワーク名をクリックして［OK］をクリックしてください。

お願い

●もしネットワーク名に何も表示されない場合、WARPSTAR ベースの電源を入れ直して［ネットワークの参照］をクリックしてください。WARPSTAR ベースのネットワーク名が見えるようになります。WARPSTAR ベースの電源投入後［ネットワークの参照］で検索できる時間は、ベースマネージャの［無線 LAN の設定］で変更できます。「3-3　ベースマネージャで設定する」（☛P3-6）

■データ保護（暗号化）の設定をする（アクセスポイント通信の場合）■

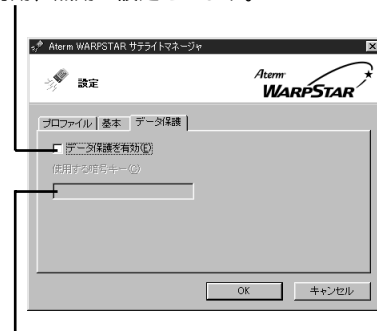
WARPSTAR サテライトのデータ保護設定をします。

データ保護の有効、無効の設定をします。
データ保護を有効にする場合は、WARPSTAR ベースと WARPSTAR サテライトを同一のキー番号（1 ～ 4）に同一の暗号キーを設定する必要があります。

暗号キーの設定を行います。（英数字を使用した場合、最大 5 桁／ 16 進数を使用した場合、最大 10 桁）

設定した暗号キー（最大 4 個）の内使用する暗号キーのキー No を設定します。

■データ保護（暗号化）の設定をする（パソコン間通信の場合）■

データ保護の有効、無効の設定をします。

暗号キーの設定をします。

4 LAN機能を使いこなしましょう

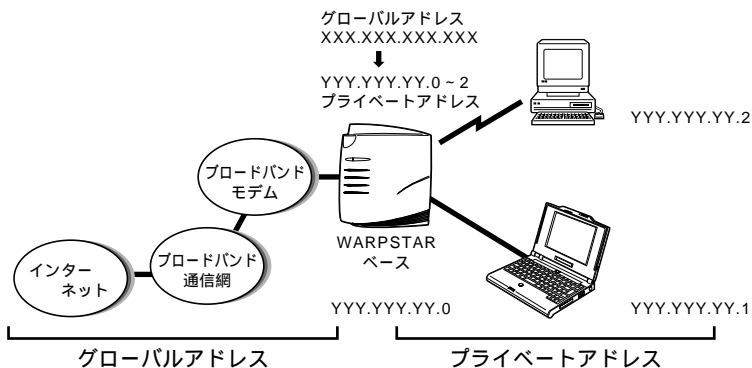
Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

4-1 *LAN のデータ通信機能*

アドバンスド NAT

NAT（Network Address Translator）とは、インターネット上で使われるグローバルアドレス（インターネット上で 1 つしかない IP アドレス）をプライベートアドレス（LAN で任意に設定できる IP アドレス）に変換する機能です。アドバンスド NAT は、1 つのグローバルアドレスを複数のプライベートアドレスに変換することができます。

●IP アドレス

IP（Internet Protocol）アドレスとは、ネットワーク上でパソコンを識別する番号です。「192.168.0.1」のようにピリオドをはさんだ 4 つの数字で表します。

■アドバンスド NAT オプション

必要に応じて NAT エントリ設定をすることで、特定のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。インターネットゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションが使用できます。

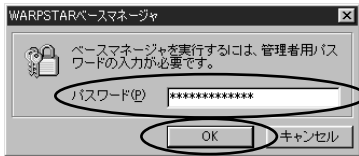
お願い

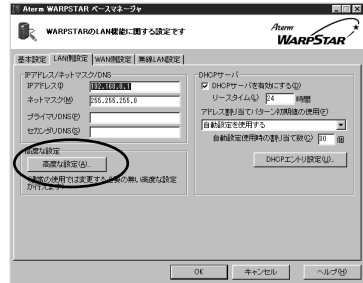
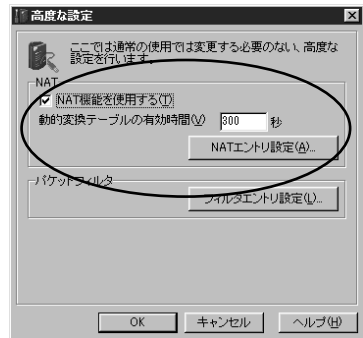
●「3-3　ベースマネージャで設定する」（☞P3-6）を参照してください。
●初期設定は、「NAT 機能を使用する」「動的変換テーブルの有効時間 300 秒」に設定されています。
●NAT の設定について詳細は、ベースマネージャのヘルプを参照してください。

■アドバンスドNATの設定を変えるには■

1 **ベースマネージャを起動する**

「ベースマネージャを起動するには」
(☛P3-7)

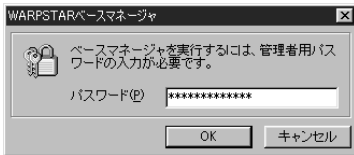
2 **管理者用パスワードを入力し、[OK]をクリックする**

3 **[LAN設定]タブまたは[WAN側設定]タブをクリックする**

4 **[高度な設定]をクリックする**

5 **[NAT]欄で設定する**

フィルタリング

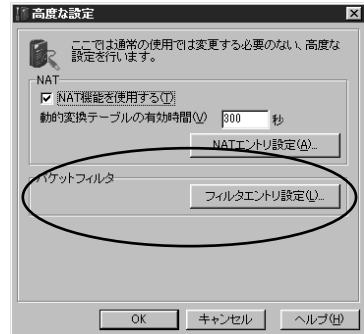
TCPやUDPのサービス（WWWブラウジングなど）を決定するポート番号とパソコンやサーバーにより割り振られたIPアドレスを組み合わせて、IPパケットの通過を許す／拒否するための機能です。この機能によって、不必要なIPパケットの送受信を制限することができます。

■パケットフィルタを設定する■

1 **ベースマネージャを起動する**

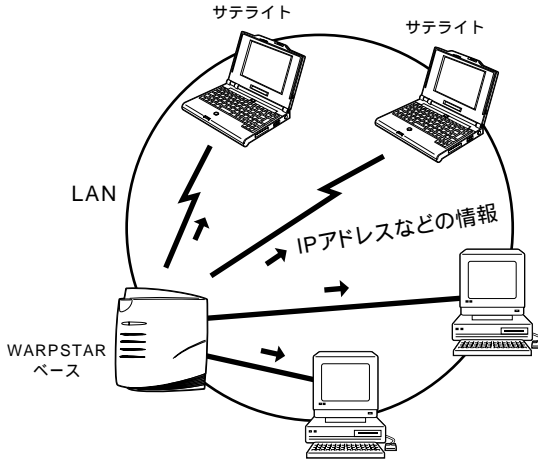
2 **管理者用パスワードを入れ、[OK]をクリックする**

3 **[LAN設定]タブまたは[WAN側設定]タブをクリックする**

4 **[高度な設定]をクリックする**

5 **[パケットフィルタ]欄で設定する**

●設定の方法についての詳細はベースマネージャのヘルプを参照してください。

DHCP サーバ機能

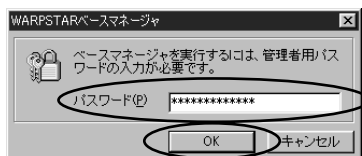
DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバ機能とは、LAN ポートのパソコンが起動すると、その都度、IP アドレスなどのネットワーク利用に必要な設定情報を、WARPSTAR から各パソコンに自動的に割り当てる機能です。これにより、各パソコンでネットワークの詳細な設定を行わなくても、LAN やインターネットに接続することができます。

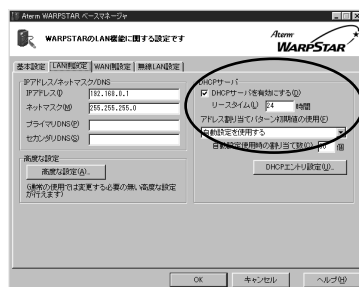
お願い

●「3-3　ベースマネージャで設定する」（☛P3-6）を参照してください。
●初期設定は、「DHCP サーバを有効にする」「リースタイム 24 時間」に設定されています。
●DHCP サーバについて詳細は、ベースマネージャのヘルプを参照してください。

■DHCPサーバを設定する■

1 **ベースマネージャを起動する**

「3-3　ベースマネージャを起動するには」(☛P3-7)

2 **管理者用パスワードを入力し、[OK]をクリックする**

3 **[LAN設定]タブをクリックする**

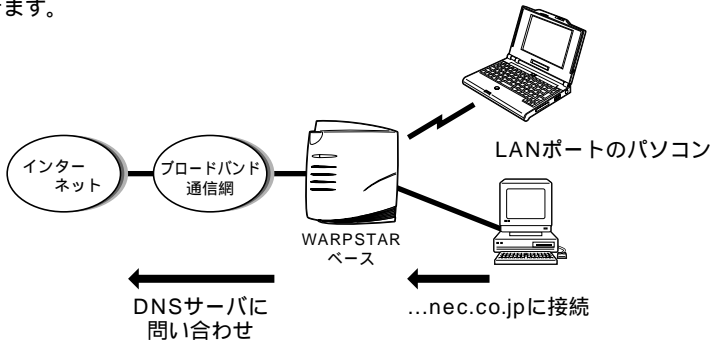
4 **[DHCPサーバ]欄で設定する**

お願い

●LAN側設定でIPアドレスを変更する場合は、必ずDHCPサーバの設定もIPアドレスに合わせて変更してください。正しく設定しないと各パソコンがWARPSTARベースと通信できなくなります。

DNS フォワーディング

接続先（プロバイダ）の DNS サーバへの IP アドレスの問い合わせを WARPSTAR が自動的にコントロールします。この機能により、各パソコンで DNS サーバを設定する必要がありません。

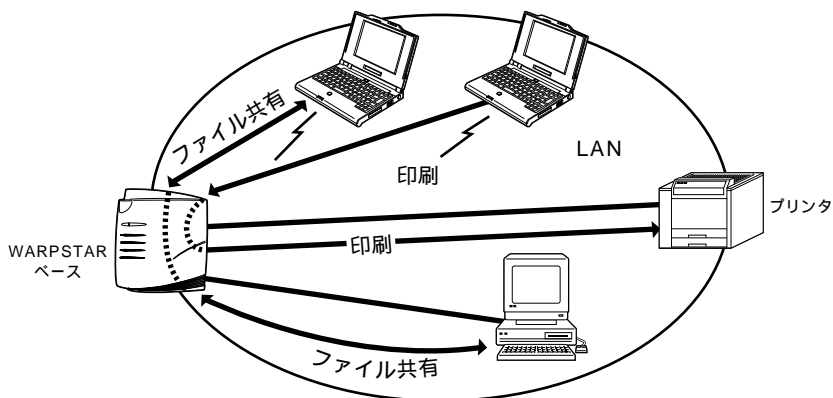
●DNS（Domain Name System）サーバ

DNS サーバは、ホームページの URL やメールアドレスに使われているドメイン名（nec.co.jp など）の IP アドレス（グローバルアドレス）が何番であるかという情報を管理しているサーバです。DNS サーバを利用することにより、IP アドレスを意識しなくても URL やメールアドレスの指定だけでホームページを閲覧したりメールを送信することができます。

お願い

●固定の DNS サーバを利用する場合は、「3-3　ベースマネージャで設定する」（☞P3-6）を参照してください。

4
LAN機能を使いこなしましょう

IP ルータ機能

IP ルータ機能により、WARPSTAR を介して LAN ポートのパソコン間でファイルやプリンタの共有が利用できます。また、LAN ポートのパソコンで電子メールの送受信やブラウザの起動操作により、インターネットプロバイダのアクセスポイントなどにダイヤルアップ接続を開始することができます。

お知らせ

●WARPSTAR を介したファイルやプリンタの共有については、「4-2 ファイルとプリンタの共有」（☛P4-14）を参照してください。

IEEE802.11b無線LAN

WARPSTARが提供する無線LANは、IEEE802.11bに準拠しており、有線LAN（Ethernet）と比べても遜色のない高速データ通信が可能です。また、らくらくアシスタントを利用して、サテライトの増設に柔軟に対応することができます。

●増設可能なサテライト数

WARPSTARベースに接続できるサテライト数はWARPSTARベースのUSBポートに接続されているパソコンと合わせて32台までです。
10台以下でのご利用を推奨します。

■サテライトマネージャで通信状態を確認する

1 タスクトレイのサテライトマネージャのアイコンを右クリックする

2 ［状態］をクリックする

サテライトとWARPSTARの通信状態が表示されます。

3 通信状態を確認したら［閉じる］をクリックする

お知らせ

●IEEE802.11bは、無線LANの規格です。データの伝送速度、通信方式、通信データの構造など、無線LAN通信を標準化するための規格が決められています。

WEP/MAC アドレスセキュリティ機能

WARPSTAR は、無線データ通信を行う上で必要なセキュリティ機能として WEP と MAC アドレスセキュリティを搭載しています。

■ WEP

WEP（Wired Equivalent Privacy）は、ユーザが指定した任意の文字列（キー）からデータが暗号化されます。ベースとサテライトに登録してある暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、WARPSTAR ベースとサテライトとの間で送受信される無線通信データを保護することができます。

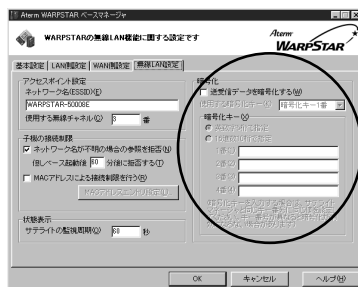
■ WEP の設定（ベースマネージャ）■

ベースマネージャで WEP を設定するときは、以下の操作を行います。

ベースマネージャ→サテライトマネージャの順で設定してください。

1 **ベースマネージャを起動する**

2 **［無線 LAN 設定］タブをクリックする**

3 **［暗号化］欄で設定する**

●WEP の設定（サテライトマネージャ）

以下の操作をサテライトのパソコンで行ってください。

1 **タスクトレイのサテライトマネージャのアイコンを右クリックする**

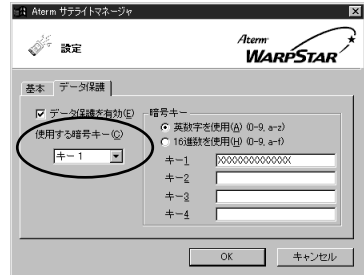
2 **［設定］をクリックする**

3 **［データ保護］タブをクリックする**

4　［データ保護を有効］をチェックする

5　［英数字を使用］または［16進数を使用］をクリックし、キーを入力する

［キー 1］から［キー 4］の 4 種類のキーを設定することができます。
ベースに登録されている暗号化キーを設定してください。

6　［使用する暗号キー］から使用するキーを選択する

7　［OK］をクリックする

■ MAC アドレスセキュリティ機能

お使いの WARPSTAR ベースを登録されたサテライトとのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、他のサテライトから LAN やインターネットへ接続するのを防ぐことができます。

●MAC アドレスセキュリティ機能の設定

●「3-3　ベースマネージャで設定する」（☛P3-6）を参照してください。
●MAC アドレスセキュリティの設定については、ベースマネージャのヘルプを参照してください。

ロギング機能

WARPSTAR ベースで行った通信のログをらくらくアシスタント、またはアクセスマネージャから簡単な操作で見ることができます。

■接続ログを見るには

1 **タスクトレイのアクセスマネージャのアイコンを右クリックする**

2 **［ログの表示］をクリックする**

接続ログが表示されます。

3 **ログを確認したら［閉じる］をクリックする**

お知らせ

- ●［ログの表示］画面の［クリア］をクリックすると、ログを消去することができます。
- ●らくらくアシスタントからログを見るときは、らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面の［通信情報の表示］をクリックします。
- ●ベースマネージャの［基本設定］タブ、接続ログ欄の［表示］をクリックしても確認できます。

■詳細ログを表示するには

1 ベースマネージャを起動する

2 ［基本設定］タブを選択する

3 詳細ログ欄で動作ログの［表示］をクリックする

4 ログを確認したら［閉じる］をクリックする

4-2 ファイルとプリンタの共有

LAN を使ったファイルとプリンタの共有

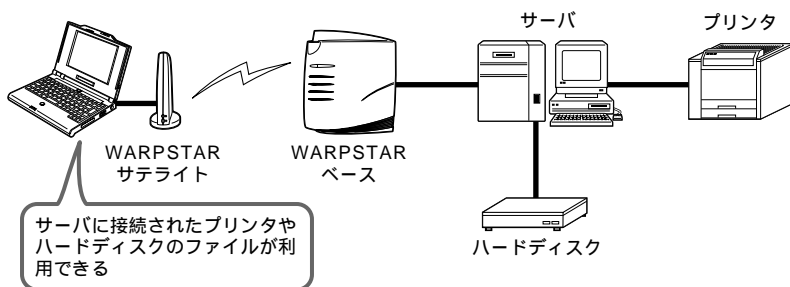
WARPSTAR に接続されたパソコン同士では、ファイルのやりとりをしたり、他のパソコンに接続されているプリンタを利用することができます。

お願い

● WARPSTAR ベースに接続されているパソコンも、WARPSTAR サテライトに接続されているパソコンも、「WARPSTAR 導入ウィザード」で設定を行うと、Windows® の共有機能を利用して、ファイルやプリンタを共有できるようになります。
ここではできることと、利用するまでの大まかな手順を説明しています。設定例については、添付の CD-ROM「データ通信詳細ガイド」「1-2 ファイルとプリンタの共有」を参照してください。また、Windows® の共有機能ですので、設定に関するお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願い致します。

■ファイルとプリンタ共有の利用例（サーバとクライアント）

ファイルやプリンタを提供する側のパソコンをサーバ、提供されたファイルやプリンタを利用する側のパソコンをクライアントと呼びます。WARPSTAR に接続されたすべてのパソコンを、サーバとしてもクライアントとしても利用することができます。
クライアントからサーバに対して、次のような利用ができます。

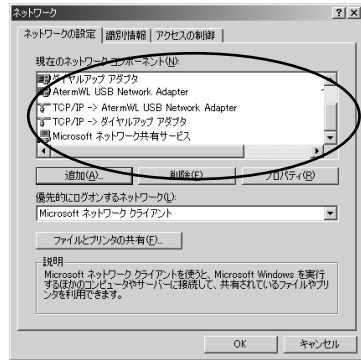
・クライアントからサーバのファイルを開く
・クライアントが、サーバのファイルを自分のハードディスクにコピーする
・クライアントからサーバに接続されているプリンタで印刷する

LAN に接続するための準備

LAN に接続する前に、それぞれのパソコンで以下の①～③の準備を行ってください。

①ネットワークコンポーネントの確認

Windows® のネットワークコンポーネントとして、以下のものがインストールされているか確認します。

- ・Microsoft ネットワーククライアント（Windows® 2000 は「Microsoft ネットワーク用クライアント」）
- ・TCP/IP（Windows® 2000 は「インターネットプロトコル（TCP/IP）」）
- ・Microsoft ネットワーク共有サービス（Windows® 2000 は「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」）

画面は Windows® Me の例です

ネットワークコンポーネントが 1 つでも不足している場合は、添付の CD-ROM「データ通信詳細ガイド」「1-2　ファイルとプリンタの共有」を参照して追加してください。

〈Windows® Me/98 の場合の確認操作〉

［スタート］ボタン―［設定］―［コントロールパネル］のクリック
↓
［ネットワーク］アイコンのダブルクリック

「優先的にログオンするネットワーク」は、「Microsoft ネットワーククライアント」にしてください。

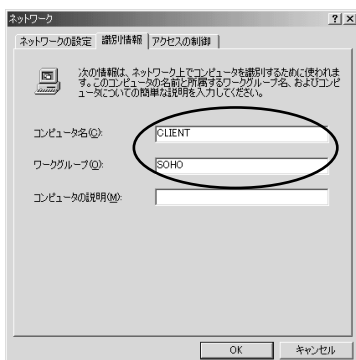
〈Windows® 2000 の場合の確認操作〉

［スタート］ボタン―［設定］―［ネットワークとダイヤルアップ接続］をクリック
↓
［ローカルエリア接続］アイコンのダブルクリック
↓
［プロパティ］のクリック

お願い

●Windows® Me の場合は、ホームネットワークウィザードは使わないでください。インターネット接続できなくなります。

②コンピュータ名／ワークグループ名の設定

コンピュータ名は、ネットワーク上でパソコンを識別するための名前です。半角英数字を使い、各パソコンで別々の名前をつけます。また、ファイルやプリンタを共有しあうパソコンは、ネットワーク内のワークグループ名を同じにする必要があります。
※［識別情報］タブで設定します。

③ WARPSTAR の設定

らくらくアシスタントの WARPSTAR 導入ウィザードで表示される案内にしたがって操作すると WARPSTAR の LAN の設定が行えます。

・WARPSTAR サテライトにパソコンを接続する場合（☛P2-7、2-35）
・WARPSTAR ベースの USB ポートにパソコンを接続する場合（☛P2-18、2-46）

お知らせ

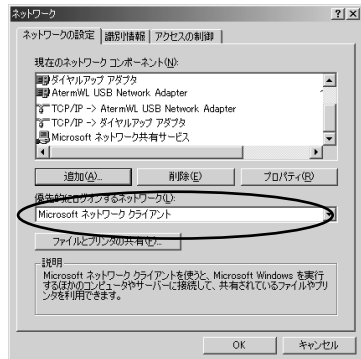
●「ネットワークコンポーネントの確認」と「コンピュータ名／ワークグループ名の確認」の具体的な操作については、添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」「1-2　ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

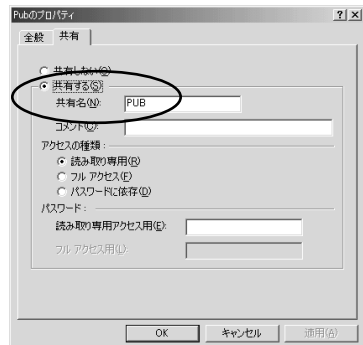
ファイルとプリンタを共有する

■フォルダやプリンタに共有を設定する（サーバ）

ファイルやプリンタを共有するには、サーバのパソコンで以下の①②の操作を行ってください。

①「Microsoft ネットワーク共有サービス」
Windows® 2000 の場合は「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」

サーバとするパソコンには、「Microsoft ネットワーク共有サービス」というネットワークコンポーネントをインストールします。
「優先的にログオンするネットワーク」は、「Microsoft ネットワーククライアント」にします。

②「フォルダの共有設定」または「プリンタの共有設定」

共有させたいファイルが保存されているフォルダに対して共有を設定します。また、プリンタに対して共有を設定すると、クライアントから利用できるようになります。
※画面はフォルダの共有設定の例です。共有したいフォルダのアイコンを右クリックして［共有］を選択すると表示されます。

お知らせ

●①②の具体的な操作については、添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」「1-2　ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

■共有フォルダや共有プリンタを利用する（クライアント）

サーバでフォルダやプリンタに共有が設定されていると、クライアント側からは、以下の手順でサーバの共有フォルダや共有プリンタに接続できます。

1 **デスクトップの［マイネットワーク］アイコンをダブルクリックする**

LAN に接続されているパソコンのアイコンが表示されます。

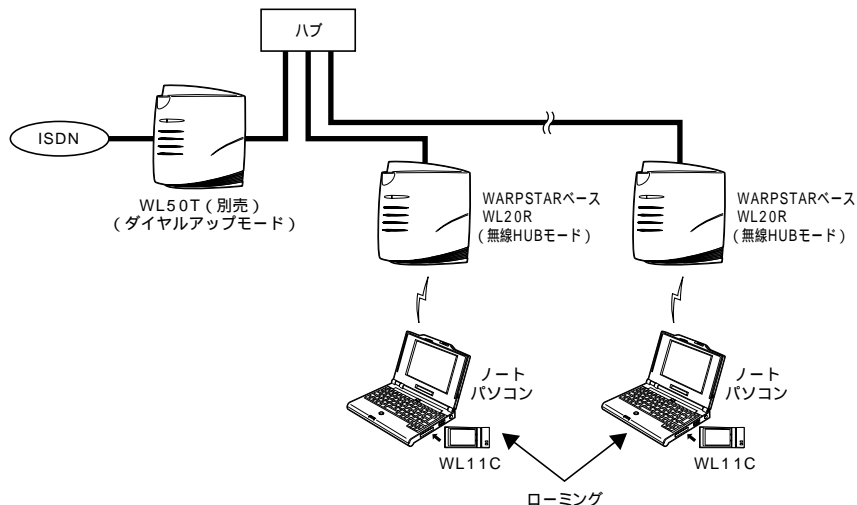
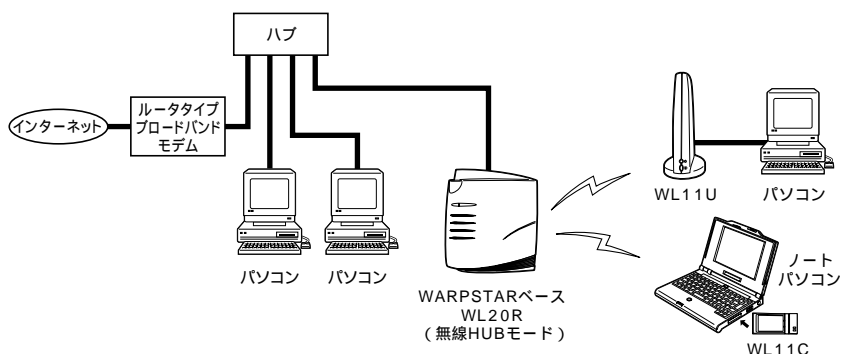
2 **利用したいパソコンのアイコンをダブルクリックする**

共有が設定されているフォルダやプリンタのアイコンが表示されます。

●具体的な操作については、添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」「1-2　ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

4-3 無線 HUB モードによるネットワーク拡張

WARPSTAR では、無線 HUB（ハブ）モードを利用して、下記のような構成でネットワークを拡張できます。設置方法は、下の図に基づいて説明を行います。
WB20R の場合は、拡張カード（WL11C）を装着してご利用ください。

〈無線 HUB モードで複数の WARPSTAR ベースを使う〉

〈ルータタイプのブロードバンドモデムに無線アクセスポイントを追加する〉

※ルータタイプのブロードバンドルータ等、WARPSTAR 以外のルータに接続する場合は、アクセスマネージャは使用できません。導入ウィザードで Windows® 起動時に自動起動しない設定にしてください。

 お知らせ

●ルータタイプのブロードバンドモデムに直接 10BASE-T ケーブルで WARPSTAR ベース（無線 HUB モード）を接続することもできます。

お願い

●無線ローミングは、同一ネットワークに存在するWARPSTARベース間でのみ行うことが可能です。ネットワーク名およびネットワークアドレス（サブネット）の異なるネットワーク間では、ローミングを行うことができません。
●ネットワークを構成するために必要な、ハブや10BASE-Tケーブル（ストレート）は、お客様の方でご用意ください。
●WARPSTARベースを無線HUBモードに設定すると、らくらくアシスタントやベースマネージャによる各種設定ができなくなります。設定変更する場合は、ネットワーク（10BASE-Tポート）からはずして（☛P4-26）を参照して、ディップスイッチの3を［OFF］にして、無線HUBモードを解除してからベースマネージャで設定を変更してください。

無線HUBモードの設定手順

WARPSTARベースを無線HUBモードで使うには、次の手順で設定を行います。

①ユーティリティやドライバをインストールする
②ベースマネージャでベースのネットワーク設定を変更する
③サテライトマネージャの設定を変更する
④無線HUBモードを設定する
⑤WARPSTARベースをネットワークに接続する
⑥無線接続するパソコンの利用範囲を確認する

お願い

●無線で接続するパソコン（WARPSTARサテライト）が複数ある場合は、④の無線HUBモードに設定する前に、すべてのパソコンで①～③の設定をしてください。無線HUBモードにすると、①の導入ウィザードや②のベースマネージャの設定ができなくなります。あとから無線で接続するパソコン（WARPSTARサテライト）を追加する場合は、⑤のネットワークからWARPSTARベースをはずして、④の無線HUBモードを通常モードに戻してから、①～⑥の手順で設定してください。

ユーティリティやドライバをインストールする

■らくらくアシスタントをインストールする

以下の説明は、WL11Cを例にして行います。

1 **Windows® Me/98/2000を起動する**

2 **WARPSTARに添付のCD-ROM［Aterm WARPSTARユーティリティ集（ブロードバンド対応)］をCD-ROMドライブにセットする**

3 **［WARPSTARらくらくアシスタントのインストール］をクリックする**

4 **［次へ］をクリックする**

5 **［次へ］をクリックする**

6 **画面の同意書を読み、同意できる場合は、［次へ］をクリックする**

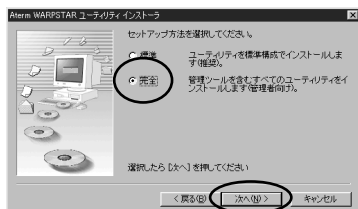
7 **［完全］を選択し、［次へ］をクリックする**

8 **表示されたインストール先を確認し、［次へ］をクリックする**
インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックしてください。

9 **［はい］をクリックする**
インストールが開始されます。

10 **［READMEの表示］にチェックが入っていることを確認し、［完了］をクリックする**

11 **READMEをお読みいただき、［README］画面を閉じる**
インストールが完了します。
らくらくアシスタントのインストールが完了するとWARPSTAR導入ウィザードが自動的に起動します。

12 **［キャンセル］をクリックして導入ウィザードを中断する**

■ WARPSTAR導入ウィザードでドライバをインストールする

1 **らくらくアシスタントのメニュー画面で［WARPSTAR導入ウィザード］をクリックする**

2 **［次へ］をクリックする**

3 **WARPSTARの動作モードを選択し、［次へ］をクリックします**

4 **［ワイヤレスLAN（カード）］を選択し、［次へ］をクリックする**

5 **［実行］をクリックする**

6 **［接続待ち］画面が表示されたら、WL11Cをパソコンに取り付ける**

ドライバがインストールされます。既にドライバがインストール済みの場合はスキップされます。

7 **［次へ］をクリックする**

8 **WARPSTARベースの電源を入れる**

WARPSTARベースの電源がすでに入っている場合は、電源をいったん切り、入れ直してください。
Powerランプ、Readyランプ、Dataランプが点滅したあと、Powerランプが緑色に点灯します。

9 **WARPSTARベースが正しく起動していることを確認し、［実行］をクリックする**

10 **接続するWARPSTARベースのネットワーク名を選択し、［OK］をクリックする**

お知らせ

●工場出荷時のネットワーク名は「WARPSTAR-××××××」です。(××××××は、WARPSTARベースの背面に記載されている10BASE-TのMACアドレスの下6桁です。

11 **［OK］をクリックする**

通信モードは、［アクセスポイント通信］のままにしてください。これでWL11Cの設定が終了します。

12 **［次へ］をクリックする**

13 **LANの設定を入力する**

・［管理者用のパスワード］には、WARPSTARの設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには、任意の英数字半角20文字まで入力できます。
・［装置名］には、WARPSTARの名称を入力します。通常はお買い上げ時の設定のままでかまいません。
・WARPSTARベースに「管理者用パスワード」が設定済の場合は、手順14へ進みます。

お知らせ

●管理者用パスワードは､WARPSTARベースをベースマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

14 ［次へ］をクリックする

15 パソコンを起動したときに起動するユーティリティを設定する

［アクセスマネージャを Windows 起動時に自動的に起動する］がチェックされていることを確認します。

※ルータタイプのブロードバンドモデム等 WARPSTAR 以外のルータに接続するときはチェックをはずしてください。

サテライトマネージャを自動的に起動するときは、［サテライトマネージャを Windows 起動時に自動的に起動する］をチェックします。

16 ［次へ］をクリックする

17 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

WARPSTAR に LAN で通信するための設定を登録します。

18 ［設定終了］をクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

※無線 HUB モードのみでご使用になる場合は、インターネットの接続設定は必要ありません。らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

ベースマネージャでベースのネットワーク設定を変更する

WARPSTAR ベースが 2 台以上あるときはネットワーク名を同一のものに変更します。

1 **らくらくアシスタントの［ベースマネージャの起動］をクリックする**

2 **WARPSTAR ベースの管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

ベースマネージャが起動します。

3 **［無線 LAN 設定］タブをクリックする**

4 **［ネットワーク名］に、任意のネットワーク名（2 台目以降は同じネットワーク名）を入力する**

例：ネットワーク名＝ NEC-NETWORK1

お知らせ

●無線ネットワークにセキュリティをかける場合は、ここで［子機の接続制限］や［暗号化］の設定も行ってください。
また、電波干渉などで無線チャネルを変更する場合も同様にここで変更してください。

5 **［OK］をクリックする**

設定値が登録されます。

6 **［OK］をクリックする**

WARPSTAR ベースが再起動し、らくらくアシスタントのメニュー画面が表示されます。

お知らせ

●WARPSTAR ベースが再起動したあと、ネットワーク名が変わったため「WARPSTAR ベース（親機）がみつかりません」のエラー表示が出る場合があります。その場合はサテライトマネージャで同じネットワーク名に設定し直してください。

サテライトマネージャの設定を変更する

1 タスクトレイの［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックする

タスクトレイにアイコンがない場合は、［スタート］－［プログラム」－［AtermWARPSTARユーティリティ]－［AtermWARPSTAR サテライトマネージャ］をクリックしてください。

2 ［設定］をクリックする

サテライトマネージャが起動します。

3 ［基本］タブの［ネットワーク名］をベースマネージャで変更した名前に書き換える

4 ［OK］をクリックする

サテライトマネージャが終了します。

お知らせ

●ここで、下記の手順で通信状況が「良好」になることを確認してください。

①タスクトレイの「サテライトマネージャ」を右クリックする

②［状態］をクリックする
→通信状況が表示されます

無線 HUB モードを設定する

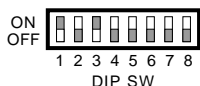
ディップスイッチで WARPSTAR ベースを無線 HUB モードに変更します。

1 **WARPSTAR ベースの電源を切る**

2 **装置底面のカバー開ける**

3 **ディップスイッチの 3 を「ON」にする**

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

ON
OFF
1 2 3 4 5 6 7 8
DIP SW

DIPSW3
ON ：無線 HUB モード
OFF ：通常モード

4 **WARPSTAR ベースの電源を入れる**

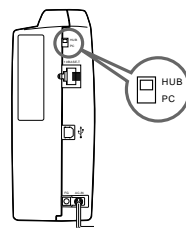
お願い

●WARPSTAR ベースを無線 HUB モードに設定すると、らくらくアシスタントやベースマネージャによる各種設定ができなくなります。設定変更する場合は、ネットワーク（10BASE-T ポート）からはずして上記と逆に、ディップスイッチの 3 を［OFF］にして、無線 HUB モードを解除してからベースマネージャで設定を変更してください。

WARPSTAR ベースをネットワークに接続する

■ WARPSTAR ベースをネットワークに接続する

1 **WARPSTAR ベースの背面にある「10BASE-T ポート」を、添付の 10BASE-T ケーブル（ストレート）で上位ネットワークのハブへ接続する**

2 **WARPSTAR ベースの背面の「カスケード切替スイッチ」を「HUB」側に設定する**

■ WARPSTAR ベース及びハブの接続を確認する

WARPSTAR ベース及びハブの電源を入れ、それぞれの LAN ポートが正しく接続されていることを確認します。

・WARPSTAR ベースの場合は、背面の「10BASE-T ポート状態表示ランプ」が点灯します。

※使用する 10BASE-T ケーブル、ハブのポート仕様によっては「カスケード切替スイッチ」を反対側にしないと通信できない場合があります。「10BASE-T ポート状態表示ランプ」が点灯するように「カスケード切替スイッチ」を切り替えてください。

※必ず無線 HUB モードにしてから、上位ネットワーク（10BASE-T ポート）に接続してください。また無線 HUB モードを解除する場合は、必ず上位ネットワーク（10BASE-T ポート）から外してから、解除してください。

・上位ネットワークのハブについては、ハブの取扱説明書をご覧ください。

■ WARPSTAR サテライトからのインターネット接続を確認する

増設したそれぞれのWARPSTARベースごとインターネット接続ができることを確認します。

1 **1台のWARPSTARベースのみ電源を入れる**

WARPSTARベースを複数台接続している場合は、接続確認を行う1台のみを除いて、他のWARPSTARベースは電源を切ってください。

お願い

●電源を入れたままWARPSTARベースが複数台あると、無線が他のWARPSTARベース経由で接続してしまい、正しく確認できない場合があります。
WARPSTARベースからのインターネット接続の確認は、1台ずつ行ってください。

2 **WARPSTARサテライト（WL11UまたはWL11C）を接続したパソコンから、インターネット接続の確認を行う**

ISDN回線にWL50T（別売）をルータとして接続してご使用の場合は、アクセスマネージャを使って、接続／切断を行います。ルータタイプのブロードバンドモデムにネットワークで接続している場合は、アクセスマネージャは使えません。アクセスマネージャを終了させ、ブロードバンドモデムの取扱説明書に従って操作してください。

無線接続するパソコンの利用範囲を確認する

すべてのWARPSTARベースの電源を入れ、無線接続するパソコンの利用範囲を確認します。

1 **すべてのWARPSTARベースの電源を入れる**

2 **WARPSTARサテライト（WL11UまたはWL11C）を接続したパソコンのタスクトレイ［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックする**

3 **メニューの［状態］をクリックする**

無線の通信状態が表示されます。

4 **パソコンの場所を変えながら［通信状況］と［速度］を確認する**

お知らせ

- 無線の通信状況が「限界」、または「2 Mbit/s 以下」になる場合は、通信が切断されたり不安定になる場合があります。
  このような場合は、WARPSTAR ベースの配置場所を変えたり、WARPSTAR ベースを増設したりして対処してください。
- WARPSTAR サテライトが、複数の WARPSTAR ベースの電波範囲にある場合は、電波強度の強い方を経由して通信を行います。サテライトの位置を移動した場合には、自動的に通信エリアが切り替わります。

お困りのときには

WARPSTAR ネットワーク接続を行う際、正しく動作しないときにお読みください。

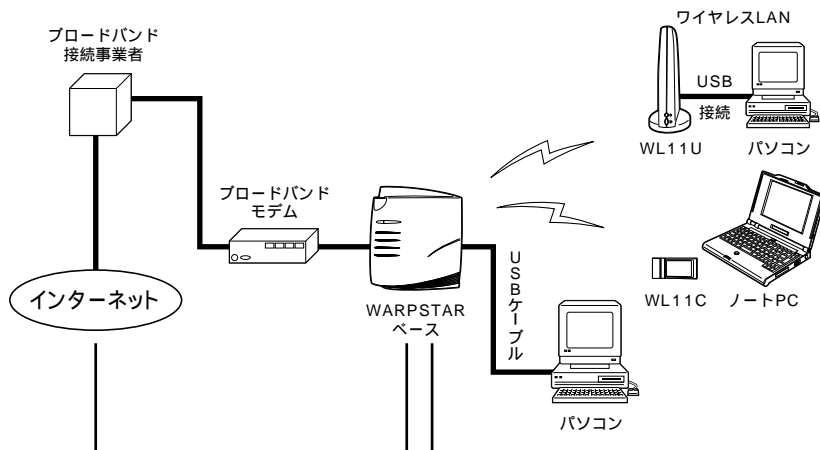
■ネットワークの参照ができない場合

WL11U ／ WL11C で接続する場合で、「WARPSTAR 導入ウィザード」の［ネットワーク参照］で WARPSTAR ベース（親機）が見つからない場合は、下記の操作を行ってください。

①一番近くの WARPSTAR ベースの電源を入れ直す。

②タスクトレイの［サテライトマネージャ］を右クリックし、［設定］→［ネットワークの参照］を設定し直す。または、（☞P4-24）で設定した［ネットワーク名］を直接入力し、［OK］をクリックする。

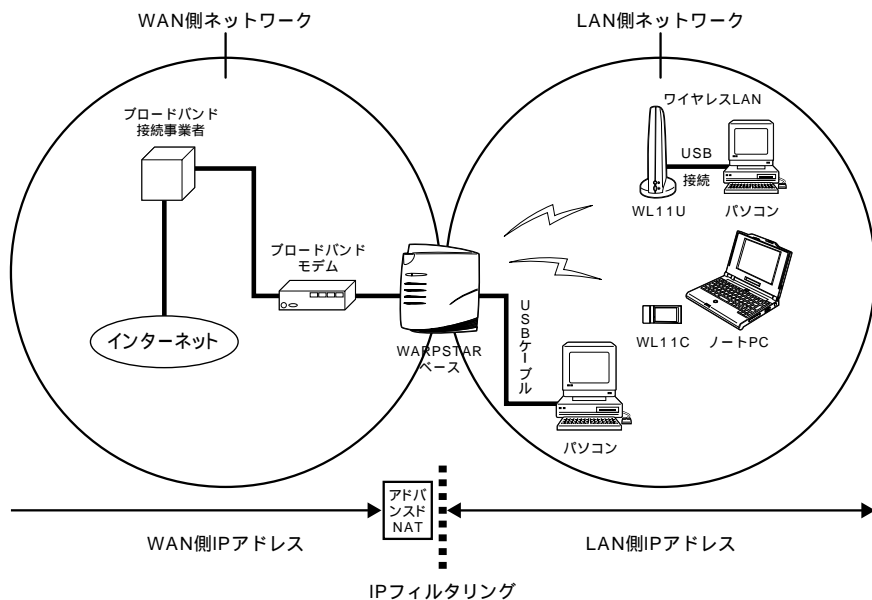
4-4 WARPSTARのセキュリティ機能について

WARPSTARのセキュリティ機能には、無線LANネットワーク内のセキュリティとブロードバンド通信網からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

WAN側セキュリティ機能
・アドバンスドNAT
・IPフィルタリング
・アクセスマネージャ

LAN内ネットワークセキュリティ機能
・ネットワーク名（ESSID）
・WEP
・MACアドレスセキュリティ機能

WAN 側へのセキュリティ機能

WARPSTAR では、インターネット接続状態におけるブロードバンド通信網へのセキュリティ機能として次の 3 つをそなえています。
・アドバンスド NAT
・ＩＰフィルタリング
・アクセスマネージャ
特に WARPSTAR 独自のアクセスマネージャでは、パソコンごとにブロードバンド通信網への接続を制御して、必要のないときにはインターネットとパソコンのコネクションを切り離すことで WARPSTAR に接続されたパソコンのネットワークの安全性を確保します。

それぞれの機能について説明します。

■アドバンスドNAT機能

NAT（Network Address Translator）とは、インターネット上で使われるグローバルアドレス（インターネット上で1つしかないIPアドレス）をプライベートアドレス（LANで任意に設定できるIPアドレス）に変換する機能です。アドバンスドNATは、1つのグローバルアドレスを複数のプライベートアドレスに変換することができます。このアドバンスドNAT機能により、外部からは、各パソコンのIPアドレスはみえず、LAN側のパソコンへの不正な直接アクセスを防ぐ効果があります。
また、アドバンストNATオプションの設定で、細かいアクセス制御をすることで、ネットワークゲームに対応することも可能です。

※WAN側にプライベートIPアドレスを振るブロードバンド接続事業者の場合、ネットワークゲームがご利用になれないばあいがあります。接続事業者にご確認ください。

詳しい設定の方法は、「4-1　LANのデータ通信機能　アドバンスドNAT」（☛P4-2）を参照してください。

■フィルタリング機能

WARPSTARでは、不正なアクセスや不必要なIPパケットの送受信を制限することができます。

詳しい設定の方法は、「4-1　LANのデータ通信機能　フィルタリング」（☛P4-4）を参照してください。

■アクセスマネージャによる接続設定機能

アクセスマネージャで接続先を指定してコネクションすることにより、外部からの不正なアクセスを防止することができます。また、アクセスマネージャでは、インターネットへの接続方法（自動／手動／表示など）を選択することができます。

■接続方法を選択する

1. **タスクトレイのアクセスマネージャのアイコンを右クリックする**
2. **メニューから［オプションの設定］を選択する**
3. **［接続確認］タブをクリックし、接続方法を設定する**

4. **接続方法の設定を行う**
5. **設定後は、［OK］をクリックして閉じる**

■設定例

設定例①

アクセスマネージャの［オプションの設定］では、［インターネットへの接続を自動検出する］のチェックをはずします。

動作：タスクトレイのアクセスマネージャのメニューから手動で接続／切断を行う設定です。
　　　接続確認の自動ポップアップはされません。

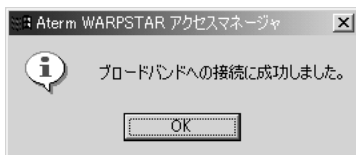
設定例②

アクセスマネージャの［オプションの設定］では［インターネットへの接続を自動検出する］と［インターネット接続の前に確認メッセージを表示する］の両方にチェックをします。

動作：WWWブラウザやメールソフトを使って、インターネットへ接続するたびに、WARPSTARでアクセスマネージャの接続確認の画面を表示する設定です。接続確認画面で［接続］することでインターネットに接続するので、意図しない接続を防ぐことができます。また、この手順は、ADSLのように接続するプロバイダを切り替えながら接続する場合にも便利です。

設定例③

アクセスマネージャの［オプションの設定］では［インターネットへの接続を自動検出する］をチェックして［インターネット接続の前に確認メッセージを表示する］をチェックをはずします。下の欄の［接続後に通知メッセージを表示する］をチェックします。

動作：接続確認の画面を省略する設定です。ただしインターネットへの接続が完了したことを知らせる画面がでるので、インターネットに接続したことを簡単に知ることができます。

●この場合パソコンのアプリケーションで、インターネットへパケットを自動発信するような設定になっていた場合、自動的にインターネットへ接続されることになりますので、無人でパソコンを運用する場合などは十分ご注意ください。
ただし、パソコン画面に接続完了の画面が表示されるので意図しない接続の発見が簡単にできます。

（次ページに続く）

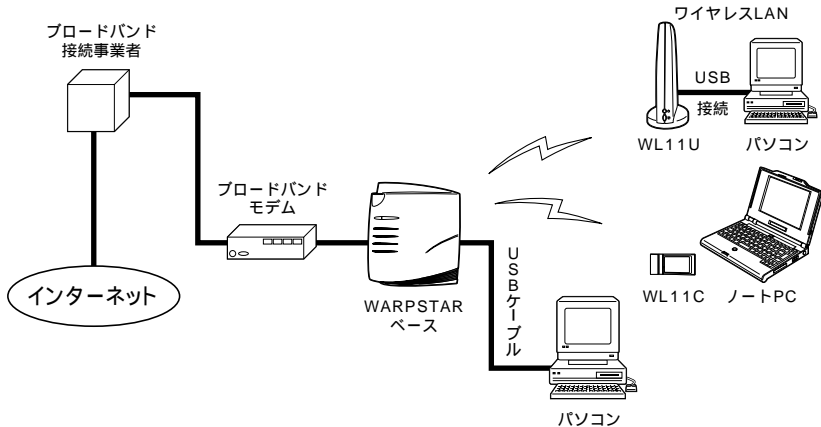
設定例④

アクセスマネージャの［オプションの設定］では［インターネットへの接続を自動検出する］をチェックします。［インターネット接続の前に確認メッセージを表示する］と［接続後に通知メッセージを表示する］の両方のチェックをはずします。

動作：接続確認の画面と接続完了の画面の両方を省略する設定です。この場合、使い勝手は通常のブロードバンドルータとほぼ同じになります。タスクバーのアクセスマネージャのアイコンの状態で接続状況を確認できます。アイコンが下記の場合は接続中です。

●この場合無人でパソコンを運用する場合には、意図しない接続がされてしまうおそれがありますので、十分な知識が必要となります。
また、パソコン画面にも接続完了の画面が表示されません。アクセスログのみが履歴となりますので、運用時にはアクセスログをチェックすることを強く推奨します。「ロギング機能」（☛P4-12）

無線ネットワーク内のセキュリティ機能

WARPSTARは、WARPSTARに接続されたパソコンで、ネットワーク内の無線データ通信を行うときに必要なセキュリティ機能としてWEPとMACアドレスセキュリティを搭載しています。

■ネットワーク名（ESSID）

無線LAN機器が、通信するお互いを識別するIDとしてネットワーク名（ESSIDとも呼びます）を設定します。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名は検索することができますが、WARPSTARの初期設定ではこの検索に応答しないようにしています。ただし、電源を入れて最初の30分間は、検索に応答しますので、ネットワーク名を忘れて検索するときは、WARPSTARベースの電源を入れ直して、30分以内にネットワークの参照を行ってください。

■WEP

ユーザが指定した任意の文字列（暗号化キー）をWARPSTARベースとWARPSTARサテライトに登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、WARPSTARベースとサテライトとの間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からのぼう受や盗聴から守ります。

■MAC アドレスセキュリティ機能

MACアドレスを使ってお使いのWARPSTARが登録されたサテライトとのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、他のサテライトからLANやインターネットへ接続するのを防ぐことができます。
WEP／MACアドレスセキュリティ機能の設定方法については「4-1　LANのデータ通信機能　WEP／MACアドレスセキュリティ機能」（☞P4-10）を参照してください。

5 お困りのときには

WARPSTARがうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

5-1 トラブルシューティング

設置に関するトラブル

症　状		原因と対策
電源を入れたとき	Power ランプが点灯しない	電源が入っていません。 ●電源コードがはずれている →電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 ●電源スイッチが入っていない →電源スイッチの［ I ］（オン）側を押してください。 ●電源コードがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると WARPSTAR ベースに供給されている電源も切れてしまいます。 ●電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源コードをコンセントからはずしてお買い上げいただいた販売店や NEC 保守サービス受付拠点にご相談ください。
添付の CD-ROM をパソコンにセットしたとき	メニュー画面を表示したくない	CD-ROM をセットすると、メインメニュー画面が表示されるように設定されています →表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。 ●不要な場合はメニューの［終了］をクリックします。 ●Windows® Me/98/2000 の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。 ●Windows® Me/98 の場合、CD-ROM を入れたときに最初の画面が表示されないようにできます（ただし、WARPSTAR だけでなく、ほかの CD-ROM でも表示されなくなります)。 1）［コントロールパネル］の［システム］をダブルクリックする 2）［デバイスマネージャ］タブの［CD-ROM］をダブルクリックする 3）使用する CD-ROM ドライブをクリックし、［プロパティ］をクリックする 4）［設定］タブをクリックする 5）［オプション］の［自動挿入］または［挿入の自動通知］のチェックをはずす 6）［OK］をクリックし、Windows® Me/98 を再起動する
Aterm が正常に動作しないが、原因がわからない	設定に誤りがある	●設定に誤りがある場合があります。 →以下のようにして、現在の設定内容を表示、または印刷して確認してみてください。 1）らくらくアシスタントを起動する 2）[設定値のバックアップ]をクリックする 設定内容の一覧が表示されます。 3）設定内容を印刷する場合は、[ファイル]メニューの[印刷]をクリックし、印刷条件を指定して[OK]をクリックする ※どうしても動作しない場合は、購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。

らくらくアシスタントに関するトラブル

症　状		原因と対策
らくらくアシスタント、ベースマネージャ、アクセスマネージャを使用できない	「Aterm WARPSTARが見つかりません。…」と表示される	●WARPSTARの電源スイッチが入っていない →電源スイッチの［ I ］（オン）を押した状態にしてください。 ●10BASE-T接続の場合は10BASE-Tケーブルが正しく接続されているか確認してください。10BASE-Tコネクタ横の10BASE-Tポート状態表示LEDで確認できます。 ランプが点灯していない場合、ケーブルとカスケード切替スイッチを確認してください。 ●USB-LANポート接続の場合は、USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。WARPSTARベースのReadyランプが緑（またはオレンジ）に点灯していることで確認できます。Readyランプが正しく点灯しない場合はUSBドライバが正しくインストールされているか確認してください。 ●WARPSTARサテライト（WL11U/WL11C）からの接続の場合は、サテライトマネージャで無線が正しく通信できているか確認してください。通信状態が範囲外または異常の場合はサテライトマネージャの設定を確認してください。
WARPSTARサテライトが使えない	サテライトマネージャアイコンが使える状態（青表示）にならない	●WARPSTARベースの電源が入っていない →電源が入っているか確認してください。 ●無線のネットワーク名（ESSID）が間違っている（一致していない)。 →WARPSTARベースに登録されているネットワーク名とサテライトマネージャで設定しているネットワーク名が同じか確認してください。 WARPSTARベースの出荷時設定は、WARPSTAR-＊＊＊＊＊＊（＊＊＊＊＊＊は10BASE-TのMACアドレスの下6桁です)。 ●暗号化（WEP）の設定が一致していない。 →ベースとサテライトは、暗号化のWEPキーが一致しないと通信できません。WEPの暗号キーを確認してください。初期化すると暗号化が解除されます。

ADSL接続でのトラブル

症　状	原因と対策
ADSL（PPPoE）接続できない	●フレッツADSL接続後、電源のON/OFF等で異常終了した場合、WARPSTARの再起動後の再起動において、一定時間（最大で30分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。

※この他に、添付のCD-ROMに収録されている電子マニュアルの「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章とあわせてご覧ください。（☛P16）

5-2 WARPSTARを初期化する

初期化とは、WARPSTARに設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。WARPSTARがうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、WARPSTARを初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

①ベースマネージャで初期化する
②ディップスイッチで初期化する（☞P5-5）
　購入したときの状態に戻します。

ベースマネージャで初期化する

ベースマネージャを起動して初期化を行います。

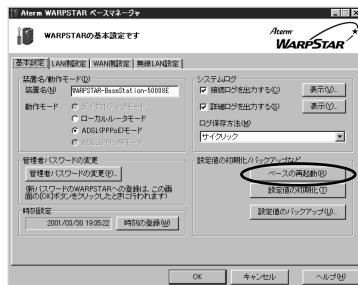
1 ベースマネージャを起動する

次のどちらかの方法で起動します。

①らくらくアシスタントのメニュー画面から、［ベースマネージャの起動］をクリックし、管理者のパスワードを入力し、［OK］をクリックする。

②［スタート］ー［プログラム］ー［Aterm WARPSTARユーティリティ］ー［Aterm WARPSTARベースマネージャ］をクリックしたあと管理者のパスワードを入れ［OK］をクリックする。

ベースマネージャをあとからインストールした場合は、［スタート］ー［プログラム］ー［Aterm WARPSTARベースマネージャ］ー［ベースマネージャ］を選択します。

2 ［設定値の初期化］ボタンをクリックする

 お知らせ

●ベースマネージャのインストール方法については「3-3　ベースマネージャで設定する」（☞P3-6）をご覧ください。

お願い

●WARPSTARベースの設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず、WARPSTAR導入ウィザードを実行後、再設定してください。

ディップスイッチで初期化する

WARPSTAR ベースのディップスイッチを使って初期化を行います。ディップスイッチは、底面のカバーを外した中にあります。

1 WARPSTAR ベースの電源を切る

2 カバーを開ける

3 ディップスイッチの 4、5 を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

4 WARPSTAR ベースの電源を入れる

Power ランプ／ Ready ランプ／ Data ランプが交互に点灯するのを繰り返したあと、POWER ランプが緑色に点灯すると初期化が完了します。

5 WARPSTAR ベースの電源を切る

6 ディップスイッチの 4、5 を「OFF」に戻す

7 WARPSTAR ベースの電源を入れる

お願い

● WARPSTAR ベースの設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず、WARPSTAR 導入ウィザードを実行してください。

5-3 自己診断

自己診断を行うと、WARPSTAR のハードウェアに異常がないかを確認することができます。

お願い

●自己診断中は、電源を切らないでください。電源を切ると、設定内容が正しく保持されないことがあります。

自己診断を行う

1 WARPSTAR ベースの電源を切る

2 カバーを開ける

3 ディップスイッチの 4 を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

ON
OFF
1 2 3 4 5 6 7 8
DIP SW

4 WARPSTAR ベースの電源を入れる

自己診断を開始します。
＜診断中のランプ表示＞
Power ランプがオレンジ色に点灯します。
↓
正常に終了すると「ピピピ…」とブザーが鳴り、Power ランプがオレンジ色／緑色と交互に点滅します。

5 WARPSTAR ベースの電源を切る

6 ディップスイッチの 4 を「OFF」に戻す

ディップスイッチの 1 は ON のままにしておきます。

7 WARPSTAR ベースの電源を入れる

異常が発見されたときは

●自己診断テストで異常が発見されたときは、最寄りの NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。（☞P6-11）

6 付録

6

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

6-1 製品仕様

WARPSTAR ベース（WB20R）仕様

■ 仕様一覧

項　目		諸元および機能	備　考
WAN インターフェイス	インターフェイス	10BASE-T × 1 ポート	8 ピンモジュラージャック（RJ-45）
	データ転送速度（※ 1）	10Mbps	
	ルーティングプロトコル	IP	PPPoE 対応
LAN インターフェイス	インターフェイス	USB × 1 ポート	
	データ転送速度（※ 1）	12Mbps	
	接続機能	アプリケーションによる手動接続／切断	自動接続可
無線 LAN インターフェイス		拡張カードスロットあり	オプションの無線 LAN カード（WL11C）による
ヒューマンインターフェイス		状態表示 LED × 3	
		10BASE-T カスケード切替スイッチ ディップスイッチ	
利用可能端末		PC98-NX、PC-AT 互換機	
利用可能 OS （ユーティリティおよびドライバ等の動作確認 OS）		Windows® Millennium Edition 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版 Windows® 98 Second Edition 日本語版 Windows® 98 日本語版	
診断機能		自己診断機能	
電源		AC100V ± 10％　50 ／ 60Hz	
消費電力		約 9W（最大）	
外形寸法		約（幅）70 ×（高）181 ×（奥行）157mm	突起部を除く
質量		約 0.52kg	オプションを除く
動作環境		温度 0 ～ 40℃ 湿度 10 ～ 90％	結露しないこと

※ 1　規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。

WARPSTAR ベース（WL20R）仕様

■ 仕様一覧

項　目		諸元および機能	備　考
WAN インターフェイス	インターフェイス	10BASE-T × 1 ポート	8 ピンモジュラージャック（RJ-45）
	データ転送速度（※ 1）	10Mbps	
	ルーティングプロトコル	IP	PPP over Ethernet 対応

項　目		諸元および機能	備　考
LAN インターフェイス	インターフェイス	USB × 1 ポート	
	データ転送速度（※ 1）	12Mbps	
	接続機能	アプリケーションによる手動接続／切断	自動接続可
無線 LAN インターフェイス	規格	IEEE802.11b RCR STD-33 ARIB STD-T66	無線 LAN 標準プロトコル 小電力データ通信システム規格
	周波数帯域／チャネル	2.4GHz 帯（2400 〜 2497MHz）／ch1 〜 ch14	
	推奨接続台数（クライアント数）	推奨台数　10 台以下	
	伝送方式	DS-SS 方式（スペクトラム直接拡散方式）	
	伝送速度（※ 1）	11.0 ／ 5.5 ／ 2.0 ／ 1.0Mbps	自動フォールバック
	伝送距離	屋外：50m（11Mbps）〜 115m（1Mbps） 屋内：25m（11Mbps）〜 50m（1Mbps）	自動フォールバック
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ（内蔵）	
	セキュリティ	ESSID、WEP、MAC アドレスフィルタリング	
	接続機能	アプリケーションによる手動接続／切断	自動接続可
ヒューマンインターフェイス		状態表示 LED × 3	
		10BASE-T カスケード切替スイッチ ディップスイッチ	
利用可能端末		PC98-NX、PC-AT 互換機	
利用可能 OS （ユーティリティおよびドライバ等の動作確認 OS）		Windows® Millennium Edition 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版 Windows® 98 Second Edition 日本語版 Windows® 98 日本語版	
診断機能		自己診断機能	
電源		AC100V ± 10%　50 ／ 60Hz	
消費電力		約 9W（最大）	
外形寸法		約（幅）70 ×（高）181 ×（奥行）157mm	突起部を除く
質量		約 0.55kg	オプションを除く
動作環境		温度 0 〜 40 ℃ 湿度 10 〜 90 %	結露しないこと

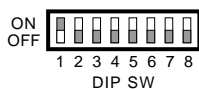
※ 1　規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。

WARPSTAR ベースのディップスイッチ

底面のカバーを開けるとディップスイッチ（DIP SW）が見えます。ディップスイッチは以下の①～③の場合にのみ変更してください。それ以外のときは変更しないで工場出荷時の設定でお使いください。

①自己診断するとき（☛P5-6）
②購入したときの状態に戻すとき（☛P5-4）
③無線 HUB モードを利用するとき（☛P4-26）

●ディップスイッチ工場出荷時の設定

ON
OFF
1 2 3 4 5 6 7 8
DIP SW

は、工場出荷時の状態です。

●ディップスイッチの変更

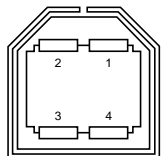
1	2	3	4	5	6	7	8	内容
ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	通常
ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	自己診断
ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	購入したときの状態に戻す
ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	無線 HUB モード

は、工場出荷時の状態です。

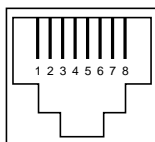
お知らせ

●電源を入れたままでディップスイッチを変更したときは、電源をいったん切って再び入れ直すと設定が有効になります。

WARPSTAR ベースの USB ポートインタフェース

コネクタ形状

ピン番号	略称
1	Vcc
2	－D
3	＋D
4	GND

WARPSTAR ベースの 10BASE-T ポートインタフェース

コネクタ形状

●カスケード切替スイッチが「PC」のとき

ピン番号	略称	機能
1	RD＋	受信データ　＋
2	RD－	受信データ　－
3	TD＋	送信データ　＋
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD－	送信データ　－
7	NC	未使用
8	NC	未使用

●カスケード切替スイッチが「HUB」のとき

ピン番号	略称	意味
1	TD＋	送信データ　＋
2	TD－	送信データ　－
3	RD＋	受信データ　＋
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD－	受信データ　－
7	NC	未使用
8	NC	未使用

WARPSTAR サテライト（WL11U）／（WL11C）仕様

■ 仕様一覧

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th>WL11U 諸元</th><th>WL11C 諸元</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td colspan="2">端末インタフェース</td><td>USB</td><td>PC カード TYPE II</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="7">無線 LAN
インタフェース</td><td>規格</td><td colspan="2">IEEE802.11b
RCR STD-33、ARIB STD-T66</td><td>無線 LAN 標準プロトコル
小電力データ通信システム規格</td></tr>
<tr><td>周波数帯域／チャネル</td><td colspan="2">2.4GHz 帯（2400 ～ 2497MHz）／ ch1 ～ ch14</td><td></td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td colspan="2">DS-SS 方式（スペクトラム直接拡散方式）</td><td></td></tr>
<tr><td>伝送速度（※）（Mbps）</td><td colspan="2">11.0/5.5/2.0/1.0</td><td>自動フォールバック</td></tr>
<tr><td>伝送距離</td><td colspan="2">屋外：50m（11Mbps）～ 115m（1Mbps）
屋内：25m（11Mbps）～ 50m（1Mbps）</td><td>環境により変動</td></tr>
<tr><td>アンテナ</td><td colspan="2">ダイバーシティアンテナ（内蔵）</td><td></td></tr>
<tr><td>セキュリティ</td><td colspan="2">ESSID、WEP</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒューマンインタフェース</td><td colspan="2">状態表示 LED × 2</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">利用可能端末</td><td colspan="2">PC98-NX、PC-AT 互換機</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">利用可能 OS</td><td colspan="2">Windows® 98 日本語版
Windows® 98 Second Edition 日本語版
Windows® Millennium edition 日本語版
Windows® 2000 Professional 日本語版</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td>DC5V × 500mA</td><td>DC5V × 300mA</td><td>パソコンから給電</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td>約 2.5W（最大）</td><td>約 1.5W（最大）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法（mm）（W × H × D）</td><td>約 63×146 × 88</td><td>約 54 × 9 ×119</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">重量</td><td>約 0.18kg</td><td>約 0.06kg</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">動作環境</td><td colspan="2">温度 0 ～ 40 ℃　湿度 10 ～ 90 %</td><td>結露しないこと</td></tr>
</table>

※　規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。

6-2 別売オプション

ワイヤレス LAN セットのオプションとして次の製品を別売しています。

■ 無線カード AtermWL11C（PC-WL/11C）

WARPSTAR ベースのサテライトとして増設できます。
WB20R に装着することで WL20R と同等の無線機能をご利用になれます。

6-3 お問い合わせ・アフターサービス

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

■用語解説

用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは「WARPSTAR ユーティリティ集」の『用語解説（HTML 版）』を参照してください。

【アルファベット順】

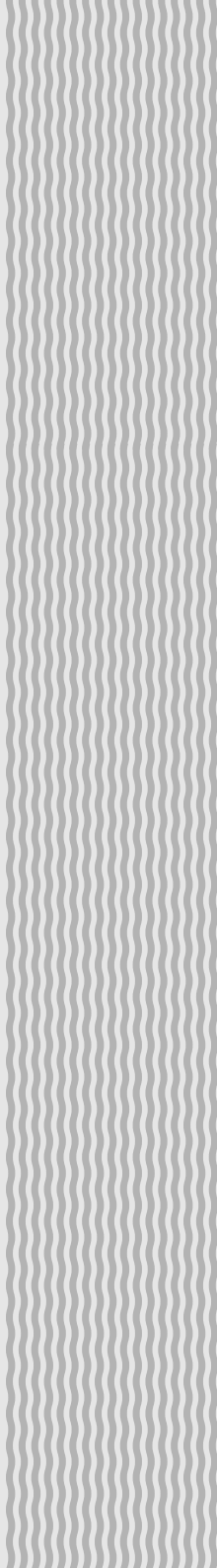
用語	解説
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速（下り 1.5 ～ 9Mbps）で安価な常時接続環境を提供する。
AtermStation（エータームステーション）	Aterm 関連の情報を提供する NEC のホームページ。 URL は http://aterm.cplaza.ne.jp/（平成 13 年 3 月現在）。
BIGLOBE（ビッグローブ）	NEC が運営しているインターネット接続とパソコン通信のサービスプロバイダ。
bps	bit per second の略。通信速度の基本単位。秒当たりに伝送されるビット数。
CATV	Cable Television の略。ケーブルテレビ。 従来のテレビのようにアンテナで電波を受信するのではなく、通信ケーブルに映像／音声をのせるテレビ放送。
DNS(Domain Name System)	IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能です。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する（例： 192.168.0.10)。
LAN	Local Area Network の略。1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
PPP	Point to Point Protocol の略。遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 を使ってインターネット接続するために使われる。
PPPoE	PPP over Ethernet の略。ADSL などの常時接続型サービスで使用されるユーザー認証技術です。Ethernet 上でダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行います。

【あいうえお順】
【か行】

クライアント	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。

【さ行】

サーバ	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上では Web サーバがホームページ情報を提供する。

【は行】

プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束事。

【ら行】

ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

用語解説

索引

[サ行]

[タ行]

[ナ行]

[ハ行]

[マ行]

[ヤ行]

[ラ行]

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載･無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り･記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本装置の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）Aterm は、災害時においてライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。